

第1学年 生物学

時間数	30時間（2時間×15回）
担当者	教養教育センター 生物学科 助教 内藤雪枝
一般目標	歯科医学の基礎や臨床科目の深い理解のためには、生物学の知識や考え方が要求されます。本科目では、初学者に必要な知識を習得しつつ、さまざまな生物学的現象の関連や共通性、あるいは多様性を認識し、生命現象についての理解を深めます。
成績評価	レポート(30%)と中間試験及び定期試験(70%)
教科書	最新歯科衛生士教本「生物学」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	8	金	1	内藤	生命とは p.1-13	・生命の特徴と、生命現象の科学的な捉え方を説明できる。
2	4	15	金	1	内藤	細胞をつくる物質 生命の単位 細胞 p.16-26 (一. I-1-D-a, II-1-C-a, II-2-A-a)	・生体を構成する物質、細胞の多様性を説明することができる。
3	4	22	金	1	内藤	細胞小器官 p.27-28 (一. I-1-D-b, II-2-A-b)	・細胞の構造と主な細胞小器官の機能を説明することができる。
4	5	6	金	1	内藤	細胞のさまざまな活動 p.28-35 (一. II-2-D・F)	・生体のエネルギー獲得と消費の仕組みを概説すると共に、酵素とATPのはたらきを説明できる。
5	5	13	金	1	内藤	細胞の一生 単細胞生物と多細胞生物 p.36-40 (一. I-1-D-c, II-2-C)	・細胞の増殖・分化と細胞死について、サイクルと仕組みを説明できる。
6	5	20	金	1	内藤	ヒトの組織 p.40-43 (一. I-1-C, I-4-A, I-5-C-c)	・4大組織の構造やはたらきを、人体の特徴を考慮しつつ説明できる。
7	5	27	金	1	内藤	ヒトの器官 p.44-47 (一. I-1-B, II-4-A-a・b, II-5-B)	・各器官の構造やはたらきを、人体の特徴を考慮しつつ説明できる。
8	6	1	水	4	内藤	中間試験 生殖の方法 減数分裂 p.50-54	・履修した内容に対する理解度を評価します。 ・生物の生殖法、細胞分裂、配偶子形成について説明できる。
9	6	10	金	1	内藤	遺伝とその法則 生命をつくる仕組み p.55-64 (一. I-1-E, I-3-A・B)	・遺伝のしくみや遺伝子の本体を説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
10	6	17	金	1	内藤	遺伝子を働かせる仕組み 発生 p.65-72 (一. I-11-B, II-2-B)	・遺伝子の形質発現のしくみを説明できる。 発生過程、発生と分化のしくみを説明できる。
11	6	23	木	4	内藤	感覚器 p.74-77 (一. I-6-A, II-8-B)	・刺激の受容と感覚器のしくみを説明できる。
12	7	1	金	1	内藤	神経と神経系 p.77-83 (一. I-4, II-7-B~E)	・興奮の伝導と伝達のしくみ、神経系を説明できる。
13	7	6	水	4	内藤	ホメオスタシス ホルモン p.84-90 (一. I-7, II-3-A, II-12)	・体液の恒常性、ヒトの内分泌器官とホルモンの働きを説明できる。
14	7	13	水	4	内藤	自律神経とホルモンの協調作用 p.90-92 (一. II-11-A, II-12)	・ホメオスタシスの代表例である、血糖値の調節、体温調節のしくみを説明できる。
15	7	21	木	4	内藤	生体防御 p.92-96 (三. I-7-A, II-4-A-a~e, II-4-D・E)	・自己と非自己を認識し、異物を排除するしくみを概説することができるとともに、金属アレルギーがおこるしくみについても説明できる。
	9	15	木	1	内藤	定期試験	・履修した内容に対する理解度を評価します。

第1学年 化学

時間数	30時間 (2時間×15回)
担当者	医学部・歯学部 生化学講座(細胞情報科学分野) 准教授 加茂 政晴
一般目標	化学の基礎を学び、生活や生命を支える化学物質の特徴(構造、性質)を理解する。
成績評価	客観評価(95%、中間試験含む)、およびレポート(5%)
教科書	最新歯科衛生士教本「化学」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	12	火	1	加茂	物質について 1) 物質の分類 2) 物質の構造	<ul style="list-style-type: none"> 原子の構造を説明できる。 原子番号と質量数を説明できる。 原子の電子配置を説明できる。
2	4	19	火	1	加茂	元素の周期律 1) 周期表における元素の分類 2) 主な元素各論	<ul style="list-style-type: none"> 典型元素と遷移元素を説明できる。 金属元素と非金属元素を説明できる。 主な元素の性質を説明できる。
3	4	26	火	1	加茂	物質質量 1) 原子質量単位 2) 原子量 3) 分子量、式量	<ul style="list-style-type: none"> 原子量の算出根拠を説明できる。 分子量、式量を算出できる。 モルの概念を説明できる。
4	5	10	火	1	加茂	化学結合 1) 各種化学結合 2) 分子間結合 (一. II-1-C、2-D・E)	<ul style="list-style-type: none"> イオン結合、化学結合、配位結合、金属結合の特徴を説明できる。 極性を理解し、水素結合を説明できる。 分子間力を説明できる。
5	5	24	火	1	加茂	水溶液 1) 水溶液の濃度の各種単位 2) コロイドの概念 (一. II-2-A・D)	<ul style="list-style-type: none"> 3種の%濃度を説明し、算出できる。 モル濃度を算出できる。 希薄溶液の濃度をppm単位で算出できる。 各濃度間の転換ができる。 コロイド溶液を説明できる。
6	5	31	火	1	加茂	酸と塩基 (一. II-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> 酸と塩基の性質を説明できる。 酸と塩基の定義を述べることができる。 酸と塩基の価数、強弱を説明できる。
7	6	7	火	1	加茂	水素イオン濃度とpH 1) 中和反応 2) 緩衝作用 (一. II-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> 水素イオン濃度とpHとの関係を説明できる。 水溶液の濃度からpHを算出できる。 中和反応を説明できる。 緩衝作用と緩衝溶液を説明できる。
8	6	13	月	4	加茂	中間試験	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項 (国試出題基準)	学習到達目標
9	6	28	火	1	加茂	酸化と還元 (一. II-2-D・E)	<ul style="list-style-type: none"> 酸化と還元の見方を説明できる。 酸化数を説明できる。 化学反応について説明できる。 化学反応式を書き表すことができる。
10	7	5	火	1	加茂	有機化合物(1) (一. II-1-C)	<ul style="list-style-type: none"> 有機化合物の構成元素を列挙できる。 有機化合物の構造的な特徴を説明できる。 各種官能基を列挙し、その特徴を説明できる。
11	7	12	火	1	加茂	有機化合物(2) 1) 各種有機化合物の特徴 (一. II-1-C 八. V-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> 飽和炭化水素化合物の特徴を説明できる。 不飽和炭化水素化合物の特徴を説明できる。 炭化水素以外の元素を含む有機化合物の特徴を説明できる。
12	7	19	火	1	加茂	生体を構成する物質(1) 1) 水 2) 無機成分 (一. II-1-B, 八. V-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> 水の構造の特性を説明できる。 水の溶媒としての特性を説明できる。 生元素の種類とその含有率を列挙できる。 主な生元素の機能を説明できる。
13	8	30	火	1	加茂	生体を構成する物質(2) 1) 糖質 (一. II-1-C, 八. V-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> 糖質の定義を説明でき、また分類できる。 単糖が持つ官能基を列挙でき、またその構造を書ける。 多糖類を形成しているグリコシド結合を説明できる。
14	9	6	火	1	加茂	生体を構成する物質(3) 1) タンパク質 2) アミノ酸 (一. II-1-C、2-F、11-A・ B、八. V-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> アミノ酸の一般構造を書き、その特徴を説明できる。 アミノ酸を構造的な特徴から分類できる。 タンパク質を形成しているペプチド結合を説明できる。 タンパク質の高次構造を説明できる。
15	9	13	火	1	加茂	生体を構成する物質(4) 1) 脂質 2) 核酸 (一. II-1-C, 八. V-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> 脂質の構造的な特徴を説明できる。 トリアシルグリセロールの構造を説明できる。 脂質を分類できる。 核酸の構成成分を列挙でき、またDNAとRNAの違いを説明できる。
	9	16	金	2	加茂	定期試験	

第1学年 情報基礎管理学

時間数	20時間 (2時間×10回)
担当者	教養教育センター 情報科学科(数学分野) 助教 長谷川 大 教養教育センター 情報科学科(医用工学分野) 講師 小野 保
一般目標	パーソナル・コンピュータ実習を通して、日常臨床あるいは研究活動上の諸問題を、情報処理という枠組みの中で解決するために必要な論理的思考法と構成的推論能力を養う。実践的には、文書作成、表計算の利用、インターネットによる情報検索、メールの送受信などの基本的なコンピュータ操作能力を身に付けることを到達目標とする。さらにLANの利用によって、情報ネットワーク社会の一員としての自覚と責任を十分に理解し、他者の立場を尊重し、かつ自己の安全を守るためのネットワーク倫理規範を学ぶことも大切な目標である。
成績評価	提出課題の内容で評価する。
教科書	「学生のための情報リテラシーOffice2016/Windows10版」 (東京電機大学出版局、若山芳三郎著)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目	学習到達目標
1	9	30	金	3	長谷川 小野	第1実習室	Windowsの基本操作・ネットリテラシー(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・Windowsの基本操作を習得する。 ・周辺装置を正しく利用できる。 ・入力装置からの入力操作が支障なく行える。 ・Webブラウザの基本操作を習得する。 ・インターネット検索を適切に行える。
2	10	7	金	3	長谷川 小野	第1実習室	Windowsの基本操作・ネットリテラシー(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ダウンロードしたファイルを保存し、開くことができる。 ・Webメールのアカウントを作ることができる。 ・電子メールを送受信できる。 ・電子メールにファイルを添付して送信することができる。 ・電子メールに添付されたファイルを保存し、開くことができる。 ・ネットリテラシーを習得する。
3	10	21	金	3	長谷川 小野	第1実習室	ワードプロセッサ(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・Wordを起動させ、簡単な文書を作成・保存して終了させることができる。 ・保存した文書ファイルを開き更新することができる。 ・外部メディアにフォルダを作成し、作成した文書ファイルを保存できる。 ・タブとボタンの機能を理解する。
4	10	28	金	3	長谷川	第1実習室	ワードプロセッサ(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・記号を入力できる。 ・文字のサイズ・フォント・スタイルや位置を編集できる。 ・表を作成し、罫線機能を支障なく使用できる。
5	11	4	金	3	長谷川 小野	第1実習室	ワードプロセッサ(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ワードアートの基本操作を習得する。 ・写真の貼り付けができる。 ・文書のレイアウトを適切に調節できる。
6	11	11	金	3	長谷川	第1実習室	ワードプロセッサ(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・単語の登録ができる。 ・簡単なビジネス文書が作れる。 ・簡単な案内状が作れる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目	学習到達目標
7	11	18	金	3	長谷川 小野	第1実習室	表計算(1)	<ul style="list-style-type: none"> Excelを起動し、簡単な計算表を作成・保存して終了させることができる。 保存した計算表を開き更新することができる。 タブとボタンの機能を理解する。
8	11	25	金	3	長谷川 小野	第1実習室	表計算(2)	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な計算式が使える。 簡単な関数を利用できる。 相対参照と絶対参照の違いを理解し、セルのコピーが適切にできる。 データシート作成に必要な書式・挿入等の機能を使用できる。
9	12	2	金	3	長谷川	第1実習室	表計算(3)	<ul style="list-style-type: none"> 使用頻度の高い関数を支障なく使用できる。 データの並べ替えができる。 レコードの抽出ができる。 グラフを作成できる。
10	12	9	金	3	長谷川 小野	第1実習室	表計算(4)	<ul style="list-style-type: none"> 作成した表やグラフをカスタマイズできる。 作成したデータベースについて、表計算やグラフ作成ができる。

第1学年 外国語(英語)

時間数	30時間 (2時間×15回)
担当者	教養教育センター 外国語学科(英語分野) 講師 柳谷 千枝子
一般目標	英語で健康と医療に関する知識を習得することで、将来歯科衛生士として活躍する際に必要な技能を身につけ、活用することができる。国際社会の一員として、異文化に対する理解を深めることができる
成績評価	定期試験(70%)、小テスト(20%)、参加態度(10%)
教科書	医療と看護の総合英語 [三訂版] Take Care! (三修社、2017)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
1	4	14	木	2	柳谷	Unit 1: What Worries Barbara?	<ul style="list-style-type: none"> 英語で自己紹介文を書き、正確に伝達できる。 正しい発音で英語を読み、本文の内容を要約できる。
2	4	20	水	2	柳谷	Unit 1: What Worries Barbara?	<ul style="list-style-type: none"> 英語の音声を聴いて、会話の内容を理解できる。 文法やイディオム、医療英語(医療関係の職業)を学習し、英語で表現できる。
3	4	27	水	2	柳谷	Unit 2: That's Mama's Hair!	<ul style="list-style-type: none"> がん治療の副作用に関する英文を読んで、自分の考えをまとめることができる。 正しい発音で英語を読み、本文の内容を要約できる。
4	5	18	水	2	柳谷	Unit 2: That's Mama's Hair!	<ul style="list-style-type: none"> 英語の音声を聴いて、会話の内容を理解できる。 文法やイディオム、医療英語(身体)を学習し、英語で表現できる。
5	5	25	水	2	柳谷	Unit 4: Right or Left?	<ul style="list-style-type: none"> 右脳と左脳に関する英文を読んで、それぞれの働きを説明できる。 正しい発音で英語を読み、本文の内容を要約できる。
6	6	1	水	2	柳谷	Unit 4: Right or Left?	<ul style="list-style-type: none"> 英語の音声を聴いて、会話の内容を理解できる。 文法やイディオム、医療英語(内臓)を学習し、英語で表現できる。
7	6	8	水	2	柳谷	Dental Topics (ハンドアウト)	<ul style="list-style-type: none"> 歯の健康に関する英文を読んで、内容を説明できる。 歯に関する様々な語彙を学習し、英語で表現できる。
8	6	15	水	2	柳谷	Unit 5: How to Give First Aid	<ul style="list-style-type: none"> 応急手当に関する英文を読んで、処置の手順を説明できる。 正しい発音で英語を読み、本文の内容を要約できる。
9	6	22	水	2	柳谷	Unit 5: How to Give First Aid	<ul style="list-style-type: none"> 英語の音声を聴いて、会話の内容を理解できる。 文法やイディオム、医療英語(症状、痛み)を学習し、英語で表現できる。
10	6	29	水	2	柳谷	Unit 9: Living a Healthy Life	<ul style="list-style-type: none"> 健康的な生活習慣に関する英文を読んで、それらを具体的に列挙できる。 正しい発音で英語を読み、本文の内容を要約できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
11	7	6	水	2	柳谷	Unit 9: Living a Healthy Life	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の音声聴いて、会話の内容を理解できる。 ・文法やイディオム、医療英語(病気)を学習し、英語で表現できる。
12	7	13	水	2	柳谷	Unit 11: Is Hepatitis B Curable?	<ul style="list-style-type: none"> ・病気の治療と治癒に関する英文を読んで、それぞれの違いを説明できる。 ・正しい発音で英語を読み、本文の内容を要約できる。
13	7	15	金	2	柳谷	Unit 11: Is Hepatitis B Curable?	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の音声聴いて、会話の内容を理解できる。 ・文法やイディオム、医療英語(薬剤関連)を学習し、英語で表現できる。
14	7	20	水	2	柳谷	Dental Topics (ハンドアウト)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯の健康に関する英文を読んで、内容を説明できる。 ・歯に関する様々な語彙を学習し、英語で表現できる。
15	9	7	水	4	柳谷	定期試験	

第1学年 解剖学

時間数	30時間（2時間×12回(講義) 2時間×2回(実習) 1時間×2回(試験)）
担当者	解剖学講座(機能形態学分野) 教授 藤原 尚樹
一般目標	ヒトの体の構造を理解するのを目的とするが、単に名称の暗記に終わることなく、形態の普遍性と変異を理解し、形態の意義、構造が存在する理由を個体発生的・系統発生的に理解する。さらに、歯科衛生士として必要な局所解剖学の知識を身に付ける。
成績評価	提出物、小テスト、筆記試験の成績で総合評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学」 (医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	14	木	1	藤原	解剖学総論 骨格系とその連結 1 1) 骨格系の概要 (一. I-4-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・身体の区分、解剖学用語、器官系統などを理解する。 ・骨の形と構造、骨の発生と成長、骨の連結を理解する。
2	4	21	木	1	藤原	骨格系とその連結 2 1) 身体各部の骨格系 (一. I-4-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・脊柱、胸郭、上肢の骨、下肢の骨を学び、身体各部の骨の連結を理解する。
3	4	28	木	1	藤原	筋系 1 1) 筋系の概要 2) 身体各部の筋 1 (一. I-4-C、 II-6-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> ・筋系の概要について理解する。 ・体幹の筋の起始と停止、および作用について理解する。
4	5	19	木	1	藤原	筋系 2 1) 身体各部の筋 2 (一. I-4-C、 II-6-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> ・上肢、下肢の筋の起始と停止、および作用について理解する。
5	5	26	木	1	藤原	脈管学 1 1) 脈管系の概要 2) 心臓 3) 動脈系 (一. I-2-A・B、 II-4-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・血管系(心臓、動脈、毛細血管および静脈)の構成、血管壁の構造、体循環と肺循環について説明できる。 ・心臓の構成と役割を説明できる。 ・身体各部の動脈を説明できる。
6	6	2	木	1	藤原	脈管学 2 1) 静脈系 2) リンパ系 (一. I-2-B・C、 II-4-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・身体各部の静脈の走行部位を理解する。 ・リンパ管とリンパ、リンパ節について説明できる。
7	6	9	木	1	藤原	中間試験	
8	6	16	木	1	藤原	神経学 1 1) 神経系の概要 2) 中枢神経系 (一. I-5-A~D、 II-7-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> ・神経系の概要について理解する。 ・中枢神経が脊髄と脳の2部からなっていること、およびその機能を理解する。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
9	6	23	木	1	藤原	神経系 2 1)末梢神経 (一. I-5-C、II-7-C)	・脊髄に出入りする末梢神経(脊髄神経)について説明できる。
10	6	30	木	1	藤原	内臓学 1 1)内臓器官の一般的構造 2)消化器系 (一. I-7-A)	・中腔器官と実質器官について説明できる。 ・消化器系が消化管と消化腺よりなることを説明できる。
11	7	7	木	1	藤原	内臓学 2 1)呼吸器系 2)泌尿器系 (一. I-3-A、8-A)	・呼吸系の器官について配列順を説明できる。 ・鼻、咽頭、喉頭、気管・気管支、肺の構造を説明できる。 ・尿の排泄経路を説明できる。 ・腎臓の構造を理解する。
12	7	14	木	1	藤原	内臓学 3 1)生殖器系 2)内分泌腺 (一. I-9-A、 10-A・B)	・男性および女性生殖器の概要について説明できる。 ・内分泌の種類と位置を説明できる。
13	7	21	木	1	藤原	感覚器系 1)感覚器系の概要 2)視覚器 3)聴覚器・平衡器 4)味覚器 5)嗅覚器 6)外皮 (一. I-6-A・B、 II-8-A~C)	・感覚器が感覚細胞と知覚神経線維からできていることを理解する。 ・感覚器の構造について説明できる。
14 ・ 15	8	24	水	3 ・ 4	藤原	人体解剖実習	・細やかな観察を通して人体の構造を正しく理解する。
	9	8	木	1	藤原	定期試験	

第1学年 口腔解剖学

時間数	45時間（2時間×20回(講義) 2時間×2回(実習) 2時間×1回(試験)）
担当者	解剖学講座(機能形態学分野) 教授 藤原 尚樹
一般目標	歯科衛生士として必要な歯科学を習得するうえで、基本となる全ての歯の形態的特徴、口腔周囲や頭頸部の構造について学ぶ。口腔解剖学を学ぶことは、今後学習する臨床科目を理解し、臨床実習を受けるためには必要不可欠である。
成績評価	提出物、小テスト、筆記試験の成績で総合評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ 「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」(医歯薬出版) 「口腔顎顔面解剖ノート」(学建書院)
参考書	「口腔の解剖」(南山堂)

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	11	月	1	藤原	口腔とは 1) 口唇 2) 口腔の区分と粘膜 3) 口蓋 (二. I-1-B)	・口腔の構造と各部位の名称について学び、固有口腔と口腔前庭の違いを説明できる。
2	4	11	月	2	藤原	内臓学 1 1) 舌 2) 唾液腺(口腔腺) (一. I-1-C 二. I-1-B・C)	・舌の区分と舌の上面、舌下面の構造、名称、舌筋の種類について説明できる。 ・唾液腺の名称、排泄管の開口部位について説明できる。
3	4	18	月	1	藤原	内臓学 2 1) 咽頭 2) 鼻腔 (二. I-1-D・G)	・咽頭の構造と口腔との区分について説明できる。 ・鼻腔の構造について説明できる。
4	4	18	月	2	藤原	頭蓋の全景 1) 頭蓋の上面 2) 頭蓋冠の内面 脳頭蓋 1) 側頭骨 2) 蝶形骨 (一. I-4-A)	・頭蓋骨を構成する骨の概略について学び、頭蓋の区分と頭蓋底の孔について説明できる。
5	4	25	月	1	藤原	顔面頭蓋 1 1) 上顎骨 2) 口蓋骨 3) 頬骨	・上顎骨、口蓋骨の構造と各部位の名称について説明できる。また、上顎骨と顔面骨の関係について説明できる。
6	4	25	月	2	藤原	顔面頭蓋 2 1) 下顎骨 2) 舌骨	・下顎骨の構造と各部位の名称について説明できる。舌骨に付着する筋肉を説明できる。
7	5	9	月	1	藤原	筋学 1) 総論 2) 表情筋 3) 咀嚼筋 (二. I-1-H)	・筋の分類、形態について理解する。 ・表情筋、咀嚼筋の走行と作用について説明できる。
8	5	9	月	2	藤原	顎関節 1 1) 顎関節の構造 (二. I-1-F・H・J)	・顎関節を構成する骨、軟骨、靭帯、筋肉、神経について説明できる。
9	5	23	月	1	藤原	顎関節 2 1) 顎関節の機能 2) 顎関節のエイジング (二. I-1-F・H)	・顎運動時の下顎頭の運動様式、関節円板の状態について説明できる。 ・顎運動時の筋の作用について説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
10	5	23	月	2	藤原	脈管学 1 1) 総論 2) 動脈 (二. I-1-I)	・頭頸部の動脈と顔面動脈、顎動脈の走行について説明できる。
11	5	30	月	1	藤原	脈管学 2 1) 静脈 2) リンパ系 (二. I-1-I)	・頭頸部の静脈の特徴と顔面・舌静脈の走行について説明できる。 ・頭頸部のリンパ節について説明できる。
12	5	30	月	2	藤原	神経学 1 1) 総論 2) 脳神経 (二. I-1-J)	・脳神経の分類と概略について説明できる。 ・口腔に関係する脳神経(三叉神経、顔面神経など)について説明できる。
13	6	6	月	1	藤原	神経学 2 1) 頭頸部の脊髄神経 2) 頭頸部の自律神経 (二. I-1-K)	・頭頸部の脊髄神経の概略について説明できる。 ・頭頸部の自律神経の概略について説明できる。
14	6	6	月	2	藤原	歯の解剖学総論 1) 歯とは 2) 歯の形態 3) 歯の記号と歯式 (二. I-2-A・C)	・歯の定義、機能を理解する。 ・解剖学で用いる方向用語、形態用語が説明できる。 ・歯の種類と名称を説明できる。 ・歯の記号と歯式について説明できる。
15	6	13	月	1	藤原	永久歯 1 1) 切歯 2) 犬歯 (二. I-2-A・C)	・切歯、犬歯の形態的特徴を学び、歯種、左右、上下の区別を説明できる。
16	6	13	月	2	藤原	永久歯 2 1) 小臼歯 (二. I-2-A・C)	・小臼歯の形態的特徴を学び、歯種、左右、上下の区別を説明できる。
17	6	20	月	2	藤原	中間試験	
18	6	27	月	1	藤原	永久歯 3 1) 大臼歯 2) 永久歯の歯髄腔 (二. I-2-A~C)	・大臼歯の形態的特徴を学び、歯種、左右、上下の区別を説明できる。 ・歯髄腔の形状を学び、特徴を説明できる。
19	6	27	月	2	藤原	乳歯 1) 乳切歯 2) 乳犬歯 3) 乳臼歯 (二. I-2-A・C)	・永久歯と乳歯の形態学的特徴の違いを説明できる。 ・乳歯の歯種別の形態的特徴を説明できる。
20	7	4	月	1	藤原	歯列と咬合 1) 歯列弓 2) 咬合 3) 隣在歯との位置関係 (二. I-2-D)	・歯列弓、咬合平面、咬合などについて学び、歯の位置関係に関わる定義について説明できる。
21	7	4	月	2	藤原	歯の異常 1) 歯数の異常 2) 歯の大きさおよび形態の異常 3) 位置の異常 4) 歯列弓、咬合の異常 5) 萌出の異常 (三. I-9-A~D・F)	・歯に関わる数や形態に関する異常について学び、その発現部位や、頻度について説明できる。 ・咬合と萌出の異常について学び、その状態について説明できる。
22 ・ 23	8	24	水	1 ・ 2	藤原	人体解剖実習 (矢巾キャンパス)	・口腔を構成する骨、筋肉、血管、神経の走行と分布を口腔衛生管理と関連させて観察する。
	9	7	水	2	藤原	定期試験	

第1学年 組織・発生学

時間数	20時間(2時間×7回(講義) 4時間×1回(実習) 1時間×2回(試験))
担当者	解剖学講座(発生生物・再生医学分野) 教授 原田英光 解剖学講座(発生生物・再生医学分野) 准教授 大津圭史 解剖学講座(発生生物・再生医学分野) 助教 池崎晶二郎
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人体を構成する細胞や組織の基本的な構造を理解する。 ・人体の発生、特に顎顔面の発生について理解する。 ・歯牙と歯周組織および口腔内諸組織の構造について理解する。
成績評価	筆記試験で総合評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学」 歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	13	水	1	池崎	細胞の構造と機能 人体を構成する基本組織 上皮と結合組織 (一. I-1-C・D、 II-2-A・C)	<ul style="list-style-type: none"> ・細胞の微細構造とその機能を理解する。 ・上皮と結合組織とは何かを理解する。
2	4	27	水	1	池崎	歯と歯周組織の発生 (二. I-3-C)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯と歯周組織の発生を理解する。
3	5	18	水	1	池崎	エナメル質・象牙質・歯髄 (二. I-2-B)	<ul style="list-style-type: none"> ・エナメル質の構造を理解する。 ・象牙質の構造を理解する。 ・歯髄の基本構造を理解する。
4	5	25	水	1	池崎	歯周組織 (二. I-2-B)	<ul style="list-style-type: none"> ・セメント質・歯根膜・歯槽骨の構造を理解する。
5	6	1	水	1	池崎	中間試験	
6	6	8	水	1	池崎	顎顔面の発生 (二. I-3-B 六. IV-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・顎顔面の発生、口蓋、口腔および口腔諸器官の発生を理解する。 ・顎顔面発生過程で起こる先天異常を学ぶ。
7	6	15	水	1	池崎	歯の萌出 口腔諸器官 (二. I-1-B、II-1-C)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯の萌出とそれに伴う周囲組織の変化を学ぶ。 ・顎関節の構造を理解する。 ・唾液腺の基本構造と三大唾液腺について理解する。
8	6	22	水	1	池崎	口腔粘膜 (二. I-1-B、II-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・舌、口唇、口蓋などの口腔粘膜の個々の構造と特徴を理解する。
9 ・ 10	8	23	火	3 ・ 4	原田 大津 池崎	組織・発生学実習 歯、歯胚、歯周組織の観察 (矢巾キャンパス)	<ul style="list-style-type: none"> ・顕微鏡を使って、歯、歯胚、歯周組織の組織標本を観察し講義で学んだことを確認する。
	9	8	木	2	池崎	定期試験	

第1学年 生理学

時間数	15時間 (2時間×8回)
担当者	生理学講座(病態生理学分野) 教授 黒瀬雅之
一般目標	生理学は生命現象のメカニズムを研究する学問である。人体は細胞から構成され、細胞が集まって組織、器官が作られる。それらが構造的、機能的に統合されて人体となる。生理学では人体のこれら各レベルでの正常な働きを講義する。このような一般的な生体の機能を学んだ上で、さらに、歯科医学の基礎として口腔生理学を学ぶ。
成績評価	70%以上の出席を必須とし、筆記試験の成績により評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	6	15	水	3	黒瀬	生理学概論 (一. I-1-D, 4-AC II-2-A, 7-ABC)	<ul style="list-style-type: none"> ・生理学とは?を概説できる ・神経系の構成について説明できる ・細胞の構造を説明できる ・膜電位を説明できる
2	6	15	水	4	黒瀬	神経系 (一. I-4-ABCD II-7-ABCDEF)	<ul style="list-style-type: none"> ・神経細胞の構造と機能を説明できる ・シナプス伝達を説明できる ・中枢と末梢神経の働きを説明できる ・自律神経系の働くを説明できる
3	6	22	水	3	黒瀬	感覚(特殊感覚) (一. I-6A, II-8-AB)	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚の一般的な性質を説明できる ・特殊感覚の種類を説明できる ・視覚と味覚を説明できる
4	6	22	水	4	黒瀬	感覚(体性感覚)と運動機能 (一. I-5ABC, 6B II-6-ABCD, 8-AC)	<ul style="list-style-type: none"> ・体性感覚の種類を説明できる ・体性感覚の受容器を説明できる ・筋紡錘の役割を説明できる ・筋収縮の様式を説明できる
5	6	29	水	3	黒瀬	内分泌 (一. I-7-A, II-12-AB)	<ul style="list-style-type: none"> ・ホルモンの分泌器官とホルモンの種類を列記し、それぞれの機能について説明できる。 ・ホルモンの種類を説明できる。
6	6	29	水	4	黒瀬	循環 (一. I-3-A, II-4-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・心臓の血液循環を説明できる ・刺激伝導系を説明できる ・心電図を説明できる ・心臓の調節機構を説明できる
7	7	20	水	3	黒瀬	呼吸 (一. I-2-A, II-5-ABC)	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器の概要を説明できる。 ・換気を説明できる ・酸素と二酸化炭素の運搬を説明できる ・呼吸の調節機構を説明できる
8	7	20	水	4	黒瀬	腎臓と体液 (一. I-9-A, II-10-AB)	<ul style="list-style-type: none"> ・腎臓の概要を説明できる ・ネフロンを図示できる ・糸球体濾過を説明できる ・尿細管での再吸収と分泌を説明できる ・体液の区分を説明できる
	9	9	金	1	黒瀬	定期試験	

第1学年 口腔生理学

時間数	16時間 (2時間×8回)
担当者	生理学講座(病態生理学分野) 教授 黒瀬雅之
一般目標	生理学は生命現象のメカニズムを研究する学問である。人体は細胞から構成され、細胞が集まって組織、器官が作られる。それらが構造的、機能的に統合されて人体となる。生理学では人体のこれら各レベルでの正常な働きを講義する。このような一般的な生体の機能を学んだ上で、さらに、歯科医学の基礎として口腔生理学を学ぶ。
成績評価	70%以上の出席を必須とし、筆記試験の成績により評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	11	8	火	1	黒瀬	消化と吸収 (一. I-8-A, II-9-ABCD)	<ul style="list-style-type: none"> ・消化管の構造を説明できる ・消化と吸収の種類を列記できる ・4大栄養素を説明できる ・胃での消化を説明できる ・小腸での消化・吸収を説明できる
2	11	8	火	2	黒瀬	口腔感覚 (二. II-1-B,D 2-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔内の感覚受容器の種類と分布を説明できる ・動水力学説について説明出来る ・歯根膜感覚について説明出来る
3	11	15	火	1	黒瀬	味覚と嗅覚 (二. II-2-B)	<ul style="list-style-type: none"> ・化学受容の特徴を説明できる ・味覚の受容機構を説明できる ・舌の構造を説明できる ・嗅細胞の特徴を説明できる ・嗅覚の受容機構を説明できる
4	11	15	火	2	黒瀬	顎運動と咀嚼運動 (二. I-EF, II-2-D)	<ul style="list-style-type: none"> ・顎運動に関する筋を列挙できる ・咀嚼筋の神経支配を説明できる ・下顎位を説明出来る ・下顎運動を説明出来る ・開口反射を図示して説明できる ・閉口反射を図示して説明できる ・咀嚼運動について説明できる。
5	11	22	火	1	黒瀬	唾液 (二. I-B, II-2-C)	<ul style="list-style-type: none"> ・大唾液腺の種類と特徴を説明できる ・安静時唾液と反射唾液を説明できる ・唾液腺の神経支配を説明できる ・唾液生成・分泌機序を説明できる
6	11	22	火	2	黒瀬	嚥下と嘔吐 (二. I-CD, II-2-E)	<ul style="list-style-type: none"> ・咽頭部の解剖を説明できる ・嚥下運動の神経機構を説明できる ・鼻咽腔閉鎖機能を説明できる ・嚥下の5期を列挙し説明できる ・嘔吐の神経機構を説明できる
7	11	29	火	1	黒瀬	発声と構音 (二. I-D, II-2-E)	<ul style="list-style-type: none"> ・音声信号の特徴を説明できる ・声帯の開閉機構を図示できる ・喉頭原音の生成を説明できる ・各種母音の構音機序を説明できる ・気流雑音を説明できる ・各種子音の構音機序を説明できる
	1	24	火	1	黒瀬	定期試験	
8					黒瀬	試験解説	

第1学年 薬理学・歯科薬理学

時間数	30時間 (2時間×15回)
担当者	薬理学講座(病態制御学分野) 助教 山田 ありさ
一般目標	薬物が生体に及ぼす影響を理解するために、薬物の性質、作用および作用機序に関する基本的知識を修得する。また、歯科治療・予防処置に用いられる薬物とその取り扱いを十分に理解する。
成績評価	筆記試験の成績、レポート等で総合評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本 「疾病の成り立ち及び回復過程の促進3 薬理学 第2版」(医歯薬出版)
参考書	歯科衛生士テキスト「最新薬理学」(学建書院)

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	15	金	4	山田	総論 1. 医療と薬物 1) 薬物療法の種類 2) 薬理作用と薬物の作用機序 (三. III-1-A~C, 2-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物療法(原因療法、対症療法)を説明できる。 ・薬理作用の基本形式と分類を説明できる。 ・薬物の作用機序を説明できる。
2	4	22	金	4	山田	総論 2. 薬理作用に影響する因子 3) 薬物の効果に影響を与える因子 4) 薬物の投与方法と剤形 (三. III-2-B・D, 4-C)	<ul style="list-style-type: none"> ・薬理作用を規定する要因(用量、作用、感受性)を説明できる。 ・薬物の適用方法の種類とその特徴を説明できる。
3	5	6	金	4	山田	総論 3. 身体と薬物・薬物の取り扱い 5) 薬物動態、ライフステージとの関係 6) 薬物の連用 7) 薬物の併用 8) 有害反応 9) 医薬品の分類・取扱い 10) 服薬指導 (三. III-2-C・E~H 3-A~E, 4-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物動態(吸収、分布、代謝、排泄)を説明できる。 ・連用の影響(薬物耐性、蓄積および薬物依存)を説明できる。 ・併用(協力作用、拮抗作用、相互作用)を説明できる。 ・薬物の主な副作用、有害作用を説明できる。 ・医薬品の分類・表示・保管と日本薬局方を説明できる。 ・薬物の配合変化・保存方法を説明できる。 ・処方せんの記載事項を説明できる。 ・服薬および対象者別の服薬指導を説明できる。
4	5	13	金	4	山田	中枢神経系に作用する薬物 1 1) 全身麻酔薬 2) 催眠薬 3) 向精神薬と抗てんかん薬 4) 抗パーキンソン病薬 (三. III-2-H, 5-A~E)	<ul style="list-style-type: none"> ・主な中枢神経作用薬を列記できる。 ・主な薬物の薬理作用、機序、副作用を説明できる。
5	5	20	金	4	山田	中枢神経系に作用する薬物 2 5) 鎮痛薬 6) 麻薬、中枢神経興奮薬 (三. III-3-D, 5-F, 8-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・痛覚伝導路について説明できる。 ・主な麻薬、解熱鎮痛薬を列記できる。 ・主な薬物の薬理作用、機序、副作用を説明できる。
6	5	27	金	4	山田	末梢神経系に作用する薬物 1 1) 局所麻酔薬 2) 血管収縮薬の添加 (三. III-7-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・局所麻酔薬の薬理作用、機序を説明できる。 ・血管収縮薬とその使用目的を説明できる。

7	6	3	金	4	山田	末梢神経系に作用する薬物 2 1) 局所麻酔薬 (三. III-2-H, 7-A)	<ul style="list-style-type: none"> • 主な局所麻酔薬を列記できる。 • 局所麻酔薬の主な副作用を説明できる。
8	6	24	金	4	山田	末梢神経系に作用する薬物 3 2) 自律神経系、神経伝達物質 a. 自律神経系、神経伝達物質 b. アドレナリン作動薬 c. アドレナリン作動性効果遮断薬 (三. III-6-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> • 自律神経系と神経伝達物質を説明できる。 • 主な薬物を列記できる。 • 主な薬物の薬理作用、機序、副作用を説明できる。
9	7	1	金	4	山田	末梢神経系に作用する薬物 4 2) 自律神経系に作用する薬物 d. コリン作動薬 e. 抗コリン薬 3) 神経・筋接合部に作用する薬物 (三. III-6-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> • 主な薬物を列記できる。 • 主な薬物の薬理作用、機序、副作用を説明できる。
10	7	8	金	4	山田	循環器・呼吸器系に作用する薬物 1) 循環器系に作用する薬物 2) 呼吸器系に作用する薬物 (三. III-10-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> • 代表的な薬物を列記できる。 • 主な薬物の薬理作用、機序、副作用を説明できる。
11	7	15	金	4	山田	炎症と薬 1) 炎症とは 2) ステロイド性抗炎症薬 3) 非ステロイド性抗炎症薬 4) 消炎酵素薬・抗ヒスタミン薬 (三. III-9-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> • 炎症のメカニズムを概説できる。 • 代表的な抗炎症薬、消炎酵素薬を列記できる。 • 主な薬物の薬理作用、機序、副作用を説明できる。
12	7	22	金	4	山田	ビタミン・ホルモン 1) ビタミン 2) ホルモン (一. II-11-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> • ビタミンを脂溶性と水溶性に分類し、個々の作用を概説できる。 • ホルモンと生理作用について概説できる。
13	8	19	金	4	山田	血液と薬 1) 止血薬 2) 抗血栓薬・抗貧血薬 (三. III-11-A~C) 悪性腫瘍治療薬	<ul style="list-style-type: none"> • 血液凝固の過程を概説できる。 • 主な止血薬、抗血栓薬、抗貧血薬の薬理作用、機序、副作用を説明できる。 • 主な抗悪性腫瘍薬とその作用機序、副作用について概説できる。
14	8	26	金	4	山田	感染症と薬 1) 抗感染症薬 2) 消毒薬 (三. III-12-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> • 感染症を概説できる。 • 主な抗感染症薬と消毒薬の薬理作用、機序、副作用を説明できる。
15	9	2	金	4	山田	歯・歯髄疾患と薬 歯周疾患と薬	<ul style="list-style-type: none"> • う蝕の予防、歯・歯髄疾患に用いる薬物の薬理作用、機序、副作用を説明できる。 • 歯周治療に用いる薬物の薬理作用、機序、副作用を説明できる。 • 洗口薬について説明できる。
	9	9	金	2	山田	定期試験	

第1学年 微生物学・口腔微生物学

時間数	30時間（2時間×11回(講義) 4時間×2(実習)）
担当者	微生物学講座（分子微生物学分野）准教授 下山 佑 微生物学講座（分子微生物学分野）講師 石河 太知
一般目標	微生物は自然界に広く生息しており、その種類はウイルスから原虫まで多岐にわたる。ヒトは微生物との相互作用なくしては生存し得ない。しかし反面、ごく限られた微生物のみがヒトに対して病原性を発揮する。それゆえ、微生物学の講義は、まず医学全般に関連した微生物学と、宿主側の感染防御機構たる免疫学について行う。そのあとで齶蝕と歯周病の病因論を中心に、口腔微生物学・免疫学を学習する。
成績評価	筆記試験の成績と出席点で総合評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「微生物学」（医歯薬出版）
参考書	

回数	月	日	曜日	時 限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	28	木	2	石河	微生物学の発達と歴史 1) 微生物学と免疫学の発展 2) 化学療法の進歩 3) 口腔微生物学の発展 微生物の一般性状 1) 細菌 2) リケッチア 3) クラミジア 4) 真菌 5) ウイルス (三. II - 1 - A・B 6 - F ~ I)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 微生物学の発展と歴史について説明できる。 ・ 細菌の基本的性状について説明できる。 ・ 微生物の遺伝について説明できる。 ・ リケッチア、クラミジア、真菌、原虫の特徴について説明できる。 ・ ウイルスの基本的性状について説明できる。
2	5	19	木	2	石河	微生物の観察方法 1) 細菌の培養 2) 細菌の分類と同定 3) 顕微鏡観察法 4) 真菌および原虫 5) ウイルス、リケッチア クラミジア (三. II - 2 - A・B 6 - F ~ I)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 細菌、真菌およびウイルスの培養法について説明できる。 ・ 顕微鏡によるさまざまな観察法の特徴について説明できる。
3	5	26	木	2	石河	感染 1) 感染と発症 2) 微生物の病原性 3) 宿主抵抗性 4) 感染症の種類 5) 感染の経路 (三. II - 3 - A ~ E)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 微生物の病原因子について説明できる。 ・ 宿主の抵抗性について説明できる。 ・ 微生物の増加によって発病するまでの過程を、微生物側と宿主側の関連性で述べる。
4	6	2	木	2	石河	免疫 1) 免疫の種類 2) 免疫の機構 3) アレルギー 4) 抗原抗体反応 (三. II - 4 - A ~ E)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 免疫の概念と免疫現象の発現について説明できる。 ・ 試験管内での抗原抗体反応の種類と反応の原理、免疫に関与する細胞の種類とその機能について説明できる。 ・ アレルギーの種類と発現のメカニズムについて説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
5	6	9	木	2	石河	病原微生物各論 1 1) グラム陽性球菌 2) グラム陰性球菌 3) グラム陰性桿菌 4) グラム陽性桿菌 (三. II-6-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> 医学および歯学領域の感染症の原因細菌とその性状について説明できる。
6	6	16	木	2	石河	病原微生物各論 2 5) スピロヘータ 6) マイコプラズマ 7) リケッチア 8) クラミジア 9) ウイルス 10) 真菌 11) 原虫 (三. II-6-E~J)	<ul style="list-style-type: none"> 医学および歯学領域の感染症の原因微生物とその性状について説明できる。
7	6	23	木	3	石河	中間試験	
8	6	30	木	2	石河	化学療法 1) 化学療法とその作用機序 2) おもな化学療法剤 3) 薬剤耐性 4) 化学療法剤の副作用 (三. II-5-A) 滅菌と消毒 1) 滅菌と消毒の定義 2) 滅菌と消毒の方法 (三. II-9-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> 化学療法剤の選択毒性・作用機序について説明できる。 おもな化学療法剤の特徴について説明できる。 薬剤耐性について説明できる。 化学療法剤の副作用について説明できる。 滅菌と消毒の違いについて説明できる。 実際の滅菌法について説明できる。 実際の消毒法あるいは消毒薬について説明できる。
9	7	7	木	2	石河	口腔環境と常在微生物 1) 口腔内常在微生物 2) 口腔環境 (三. II-7-A・B) 歯のバイオフィルム 1) プラーク 2) ペリクル・歯石 (三. II-8-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 口腔内常在微生物叢について説明できる。 口腔環境と常在微生物の関係について説明できる。 バイオフィルムとしてのプラークについて説明できる。 ペリクル・歯石について説明できる。
10	7	14	木	2	石河	口腔感染症 1) 口腔の感染症 2) 齶蝕と微生物 3) 歯周病と微生物 4) その他の口腔感染症 5) 歯科診療上留意すべき 口腔外感染症 (三. II-10-A、11-A)	<ul style="list-style-type: none"> 口腔感染症としての齶蝕と歯周病について説明できる。 その他の口腔感染症の特徴とそれに関連する微生物について説明できる。
11	7	21	木	2	石河	病巣感染 院内感染 (三. II-3-E)	<ul style="list-style-type: none"> 病巣感染を説明できる。 院内感染を説明できる。 日和見感染・菌交代症を説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
12 5 15	8	23	火	1 ・ 2	下山 石河	実習 1)滅菌と消毒 2)培地の作製 3)細菌の培養法 4)手指の細菌と手洗い効果 の比較 5)グラム染色法 6)集落の観察 7)口腔細菌の顕微鏡的 観察 (矢巾キャンパス)	・実習を通して滅菌と消毒の違い、培地の作製、細菌の培養法、手指の細菌と手洗いの効果、口腔環境と口腔細菌について習得する。
	8	25	木	1 ・ 2			
	9	7	水	1	石河	定期試験	

第1学年 口腔衛生学

時間数	40時間（2時間×20回）
担当者	歯学部 口腔医学講座(予防歯科学分野) 教授 岸 光男 歯学部 口腔医学講座(予防歯科学分野) 講師 佐藤 俊郎 歯学部 口腔医学講座(予防歯科学分野) 非常勤講師 阿部 晶子 教務主任 鈴木奈津子 教員 金子 由美子 教員 鳥畑 美香
一般目標	歯科医療には歯科疾患の治療を行うだけでなく、健康増進と疾患予防を支援し、国民の健康に寄与することが求められる。この国民の負託に応えることができる歯科衛生士となるために必要な知識を習得し、態度・技能を身につける。
成績評価	筆記試験の成績により評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本 「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学 第3版」(医歯薬出版)
参考書	歯科衛生士書き込み式学習ノート②社会歯科系科目編(医歯薬出版)

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	14	木	4	岸	口腔衛生学の基礎 (四. I-1-A・B III・IV-2-A~D VIII-1-B)	<ul style="list-style-type: none"> 健康の概念を説明できる。 口腔衛生学の意義を説明できる。 口腔保健の意義を説明できる。 第一次、二次、三次予防を説明できる。
2	4	28	木	4	岸	口腔と健康 (四. I-2-A~D 八. II-1-E)	<ul style="list-style-type: none"> 次の口腔の機能を説明できる(咀嚼・消化、嚥下、発音・発声、味覚、触覚) 口腔と全身の健康との関連を説明できる。
3	5	19	木	3	佐藤	口腔の発育と歯科疾患に伴う変化 (四. I-3-A・B 六. VI-1-F・G)	<ul style="list-style-type: none"> 歯の形成過程を説明できる。 歯の萌出と交換を説明できる。 歯の喪失の原因と現状を説明できる。
4	6	6	月	4	金子	口腔環境 歯・口腔の不潔 (二. II-2-C 四. I-4・5-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 唾液の作用を説明できる。 ペリクルを説明できる。 歯・口腔の付着物、沈着物を列挙し、説明できる。 舌苔について説明できる。
5	6	14	火	1	金子	口腔清掃1 (四. II-1-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ブランクコントロールを説明できる。 自然的清掃法を説明できる。 人工的清掃法を説明できる。 手術的清掃法を説明できる。 化学的清掃法を説明できる。
6	6	27	月	4	金子	口腔清掃2 (四. II-2-A~C、 八. III-2-B)	<ul style="list-style-type: none"> 歯ブラシの種類について説明できる。 歯間部清掃用器具を説明できる。 その他の清掃用具について説明できる。 染色剤について説明できる。
7	7	4	月	4	金子	ブラッシング (四. II-5-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> ブラッシング方法の術式を列挙し説明できる。 不適切な口腔清掃による為害作用を説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
8	7	14	木	4	金子	歯磨剤・洗口剤 (四. II-4-A・B 八. III-1-B)	<ul style="list-style-type: none"> 歯磨剤・洗口剤の種類について説明できる。 基本組成を列挙し機能を説明できる。 薬効成分を列挙し機能を説明できる。 フッ化物配合歯磨剤の使用方法を説明できる。 フッ化物配合洗口剤の使用方法を説明できる。
9	7	22	金	1	金子	演習講義 1)知識の定着 2)問題解決能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 講義で理解できなかった項目を列挙できる。 学習方法を説明できる 理解した項目を身に付ける
10	8	18	木	2	鳥畑	う蝕予防の基礎 (四. I-1-B III-1-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> う蝕の発生要因を説明できる。 う蝕の発生機序を説明できる。 初期う蝕の再石灰化を説明できる。 う蝕病変の進行と症状を説明できる。
11	8	19	金	3	鳥畑	う蝕の第一次予防 (四. I-1-B III-2-A)	<ul style="list-style-type: none"> う蝕病変の進行と症状を説明できる。 う蝕の第一次予防の手段と効果を説明できる。
12	9	29	木	4	鳥畑	う蝕の第二次・第三次予防 (四. I-1-B III-2-B~D)	<ul style="list-style-type: none"> う蝕の第二次・第三次予防の手段を説明できる。 う蝕の進行防止と治療を説明できる。
13	9	30	金	4	鳥畑	歯とフッ化物 (四. I-1-B、 III-3-A~F)	<ul style="list-style-type: none"> フッ化物の自然界の分布を説明できる。 フッ化物の摂取と代謝を説明できる。 フッ化物の毒性を説明できる。 フッ化物のう蝕予防機序を説明できる。
14	10	6	木	2	鳥畑	歯とフッ化物 (四. I-1-B、 III-3-A~F)	<ul style="list-style-type: none"> 次のフッ化物応用方法とその予防効果を説明できる (上水道へのフッ化物添加、飲食物へのフッ化物添加、フッ化物錠剤、フッ化物配合歯磨剤、フッ化物洗口法、フッ化物歯面塗布法)
15	10	7	金	4	鈴木	歯周疾患予防の基礎 (四. IV-1-A~F)	<ul style="list-style-type: none"> 歯周疾患の炎症の広がりや症状を説明できる。 歯周疾患の種類と原因を説明できる。 歯周疾患のリスクファクターを列挙できる。 歯周疾患の全身に与える影響を説明できる。
16	10	25	火	3	鈴木	歯周疾患の第一次予防 (四. IV-2-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> 歯周疾患の予防法を列挙できる。
17	11	1	火	3	鈴木	歯周疾患の第二次・第三次予防 (四. IV-2-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> 歯周疾患の予防と治療における処置を説明できる。 定期的予防処置の必要性を説明できる。
18	11	10	木	3	岸	その他の疾患・異常の予防1 (四. V-1-A~C 六. V-1-C・D) (四. VI-2-C 六. IV-1-C・F・G)	<ul style="list-style-type: none"> 口内炎の分類、要因および予防について説明できる。 口腔癌の実態と予防について説明できる。 不正咬合を起こす原因を列挙し、予防可能な要因について説明できる。 顎関節症の症型分類と症状について説明できる。
19	11	24	木	4	岸	その他の疾患・異常の予防2 (四. V-2-A~C 八. III-3-B)	<ul style="list-style-type: none"> 口臭を起こす要因を列挙し、予防について説明できる。
20	12	8	木	4	阿部	その他の疾患・異常の予防3 (三. I-9-A~F 六. VII-2-E)	<ul style="list-style-type: none"> 歯の形成不全の要因を列挙できる。 口腔乾燥症の要因と予防について説明できる。
	1	27	金	2	全員	定期試験	

第1学年 栄養学

時間数	30時間（2時間×15回）
担当者	医学部・歯学部 生化学講座(細胞情報科学分野) 准教授 加茂 政晴 教務主任 鈴木奈津子
一般目標	食生活と健康との関連性を学び、歯科衛生士として対象者のニーズに応じた食生活指導を実施するための基本的能力を養う。
成績評価	客観評価
教科書	最新歯科衛生士教本「人体の構造と機能2 栄養と代謝」(医歯薬出版) オールガイド五訂増補食品成分表2022(実教出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	9	21	水	1	加茂	栄養の基礎知識と 栄養素摂取状況 1) 栄養の定義 2) 五(六)大栄養素 3) 日本人の栄養素摂取状況 (八. V-1-A・C)	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養と栄養素について説明できる。 ・五(六)大栄養素を列記し、必要量によって分類し説明できる。 現在の食生活の概要を説明できる。 ・食事摂取基準を説明できる。 ・個人のエネルギー必要量を計算できる。
2	9	28	水	1	加茂	日本人の食事摂取基準 (八. V-1-C)	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎代謝の定義を説明できる。 ・日本人のエネルギーおよび各栄養素の現在の摂取基準の算出根拠を説明できる。
3	10	5	水	1	加茂	栄養素の消化と吸収 1) 糖質の消化と吸収 2) タンパク質の消化と吸収 3) 脂質の消化と吸収 4) ミネラル・ビタミンの消化と吸収 (一. II-9-B~E)	<ul style="list-style-type: none"> ・消化作用の種類を説明できる。 ・糖質、タンパク質、脂質の各消化酵素を列挙し、その作用を説明できる。 ・消化を行う器官および、吸収機構を説明できる。 ・各栄養素についてエネルギー供給、構成成分、及び機能調整の役割を説明できる。
4	10	12	水	1	加茂	栄養素の働き① 1) 糖質の栄養的意味 2) 脂質の栄養的意味 (八. V-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・糖質、及び脂質が吸収された後、体内でどのように代謝されて、その役割を果たしていくのかを説明できる。
5	10	19	水	1	加茂	栄養素の働き② 1) タンパク質の栄養的意味 2) 水の栄養的意味 (八. V-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・タンパク質および水が吸収された後、体内でどのように代謝されて、その役割を果たしていくのかを説明できる。
6	10	26	水	1	加茂	栄養素の働き③ 1) ビタミンの栄養的意味 2) 食物繊維の栄養的意味 (八. V-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・ビタミンの体内での生理作用と欠乏症状を説明できる。 ・食物繊維の働きを説明できる。
7	11	2	水	1	加茂	栄養素の働き④ 1) ミネラルの栄養的意味 (八. V-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・ミネラルの種類とその生理作用を説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
8 ①	11	4	金	4	鈴木	食生活と健康① 1) 食生活の変遷 2) 国民栄養の課題 (八. V-1-C・D)	<ul style="list-style-type: none"> 食生活の変遷について説明できる。 国民栄養の現状と課題について説明できる。
9 ②	11	8	火	3	鈴木	食生活と健康② 1) 食生活改善の取り組み (八. V-1-C・D)	<ul style="list-style-type: none"> 国における食生活改善の取り組みについて概説できる。
10 ③	11	15	火	3	鈴木	食生活と健康③ 1) 食事バランスガイドの活用 (八. V-1-C・D)	<ul style="list-style-type: none"> 食事バランスガイドについて説明できる。 食事バランスガイドを使って各自の食生活を評価できる。
11 ④	11	18	金	4	鈴木	食生活と健康④ 1) 成長期 2) 成人期 (八. V-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> 各ライフステージ別の食生活の特徴を理解できる。
12 ⑤	11	22	火	3	鈴木	食生活と健康⑤ 3) 高齢期 (八. V-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> 各ライフステージ別の食生活の特徴を理解できる。
13 ⑥	12	2	金	4	鈴木	食べ物と健康 1) 食品の役割 2) 食品の安全性 (四. VIII-7-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 食品の3つの機能について説明できる。 食品の安全性確保のための施策について説明できる。
14 ⑦	12	5	月	3	鈴木	食品のう蝕誘発性 (四. III-2-A)	<ul style="list-style-type: none"> 甘味食品の種類と特徴を説明できる。 う蝕と甘味食品の関連について説明できる。
15 ⑧	12	12	月	3	鈴木	演習講義 1) 知識の定着 2) 問題解決能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 講義で理解できなかった項目を列挙できる。 学習方法を説明できる。 理解した項目を身につける。
	1	25	水	2	加茂 鈴木	定期試験	

第1学年 歯科衛生士概論

時間数	15時間（2時間×8回）
担当者	教務主任 鈴木奈津子 岩手医科大学附属病院 歯科医療センター 歯科衛生士長 高橋直子
一般目標	歯科医療職のチームの一員として、専門性・質の高い保健医療サービスの提供ができる歯科衛生士となるために、歯科衛生士の心構え・役割・期待される将来像について理解する。また、「歯科衛生士」という職種について、その成り立ちと歴史、法的な位置づけについて理解する。
成績評価	小テスト(10%)、定期試験(90%)で評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科衛生学総論」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	7	木	4	鈴木	歯科衛生士とは	・歯科衛生士の定義を述べるができる。
2	4	15	金	3	鈴木	歯科衛生の歴史 (五. I - 1 - A・B, 6 - A・B)	・歯科衛生士誕生までの経緯と歯科衛生の歴史について説明できる。
3	4	22	金	3	鈴木	歯科衛生活動のための理論 (五. I - 3 - A～F)	・歯科衛生の実践は論理的でなければならぬ理由を述べるができる。 ・歯科衛生過程の6つのステップと意味を説明できる。
4	5	20	金	2	鈴木	歯科衛生士法と歯科衛生業務 (五. I - 1 - C)	・歯科衛生士を取り巻く法律についてポイントを説明できる。 ・歯科衛生業務の構成要素を説明できる。
5	5	27	金	2	鈴木	歯科衛生士と医療倫理 (五. I - 4 - A・B)	・社会のニーズに応えることのできる歯科衛生士像と、専門職としての自覚について説明できる。 ・インフォームド・コンセントにおける患者と保健医療者双方の権利と義務を説明できる。
6	6	3	金	2	高橋	歯科衛生士の活動と組織① 1) 歯科衛生活動の場 (五. I - 1 - B, 6 - B)	・他職種との連携とチーム医療について概説できる。
7	7	6	水	3	鈴木	歯科衛生士の活動と組織② 2) 歯科衛生活動の現況 3) 歯科衛生士と組織 (五. I - 1 - B, 6 - B)	・専門職としての基本的アイデンティティを確立し発展させるための組織について説明ができる。
8	7	13	水	3	鈴木	海外における歯科衛生士 (五. I - 1 - A) 演習講義 1) 知識の定着 2) 問題解決能力の向上	・海外における歯科衛生士の現況を理解することができる。 ・講義で理解できなかった項目を列挙する。 ・学習方法を説明できる。 ・理解した項目を身に付ける。
	9	16	金	3	鈴木 高橋	定期試験(筆答)	

第1学年 健康社会学

時間数	15時間 (2時間×8回)
担当者	教員 金子 由美子
一般目標	人々を健康に導く保健医療従事者となるために、健康概念の変遷と現代の健康観を学び、人間生活と社会の関わりの中で生涯を通じた健康課題を思考する能力を身につける。
成績評価	筆答により評価する。
教科書	
参考書	歯科保健関係統計資料 歯科保健指導関係資料

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	14	木	3	金子	健康の概念 1) 健康イメージ 2) 健康の概念 (四.八-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> 健康の概念について理解できる グループワークで得られた意見を統合して発表できる
2	4	19	火	4	金子	予防の考え方と適用 1) 予防の考え方と適用 (四.八-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> 第一次予防、第二次予防、第三次予防について説明できる グループワークで得られた意見を統合して発表できる
3	4	26	火	4	金子	生涯を通じた保健・福祉① 1) 生活習慣と健康 2) ヘルスプロモーション (四.八-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣と非感染性疾患(NCDs)について理解できる 生活習慣病に予防について説明できる グループワークで得られた意見を統合して発表できる
4	5	18	水	4	金子	生涯を通じた保健・福祉② 1) ノーマライゼーション 2) 国際生活機能分類(ICF) (四.八-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> バリアフリー、ユニバーサルデザインについて理解できる グループワークで得られた意見を統合して発表できる
5	6	10	金	4	金子	健康づくり運動の変遷と現状 1) 健康日本21 2) 健康増進法 (四.VIII-6-A)	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり対策について説明できる 健康生活習慣づくりについて説明できる グループワークで得られた意見を統合して発表できる
6	6	17	金	4	金子	健康行動 1) 行動科学と行動 2) 行動の理解を助ける基本理論モデル (八.I-2-B)	<ul style="list-style-type: none"> 健康行動(保健行動)の理解を助ける理論とモデルを理解できる 健康教育について理解できる グループワークで得られた意見を統合して発表できる
7	6	24	金	3	金子	情報化社会における健康情報① 1) 情報の選択と活用	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じた選択と必要性の判断ができる 科学的根拠や有効な活用方法について検証できる グループワークで得られた意見を統合して発表できる
8	7	1	金	3	金子	情報化社会における健康情報② 1) 情報の選択と活用	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じた選択と必要性の判断ができる 科学的根拠や有効な活用方法について検証できる グループワークで得られた意見を統合して発表できる
	9	9	金	3	金子	定期試験	

第1学年 歯科臨床概論

時間数	30時間 (2時間×15回)
担当者	教務主任 鈴木奈津子
一般目標	保存、補綴、矯正歯科、小児歯科および口腔外科治療の基本的な流れを中心に、それぞれの治療対象、治療目的および治療における歯科衛生士の役割等から、歯科診療の概要を理解する。
成績評価	中間試験(20%)と定期試験(80%)の成績により評価する。
教科書	
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	13	水	3	鈴木	歯科診療と歯科診療所 1) 歯科医療とは 2) 歯科診療所とその規模 3) 歯科診療所における業務 (九. I-1-A~C, 3-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科診療所で働くスタッフについて説明できる。 ・ 歯科診療所の業務について概説できる。
2	4	20	水	3	鈴木	ライフステージと歯科診療 主な診療の流れ① 1) 診査・検査・前処置 (九. I-1-A~C, 3-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライフステージと歯科診療の関わりを理解できる。 ・ 歯科診療における審査・検査・前処置について理解することができる。
3	4	27	水	3	鈴木	主な診療の流れ② 1) 小児歯科 (六. VI-4-A~J)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小児歯科の特徴を概説できる。 ・ 小児に対する治療時の対応法を列挙できる。 ・ 小児歯科治療の内容を列挙できる。
4	5	6	金	3	鈴木	主な診療の流れ③ 1) 矯正歯科 (六. V-2-C・D, 3-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 矯正歯科治療の特徴を概説できる。 ・ 不正咬合の種類を列挙できる。 ・ 矯正歯科治療の内容を列挙できる。
5	5	13	金	3	鈴木	主な診療の流れ④-1 1) 口腔外科 (六. IV-2-A~K)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 口腔外科治療の内容を概説できる。 ・ 外傷の種類と治療法を列挙できる。 ・ 口腔粘膜疾患の種類を列挙できる。
6	5	17	火	1	鈴木	主な診療の流れ④-2 1) 口腔外科 (六. IV-2-A~K)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普通抜歯、難抜歯の術式と使用する器具を説明できる。 ・ 口腔領域の悪性腫瘍の誘因を概説できる。
7	5	24	火	4	鈴木	主な診療の流れ⑤-1 1) 歯科保存 (六. II-1-A~G)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保存修復学が対象とする硬組織疾患を列挙できる。 ・ 直接修復と間接修復の違いを説明できる。
8	6	3	金	1	鈴木	主な診療の流れ⑤-2 1) 歯科保存 (六. II-2-A~K)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯内療法学とは何か概説できる。 ・ 歯髄保存療法と歯髄除去療法の種類を列挙できる。 ・ ホワイトニングの種類を列挙できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
9	6	14	火	4	鈴木	中間試験	
10	6	16	木	3	鈴木	主な診療の流れ⑥-1 1) 歯周治療 (六. II-3-A~L)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯周病の原因因子を列挙できる。 ・歯周治療の流れを説明できる。 ・歯周病と全身疾患の関係を説明できる。
11	6	30	木	3	鈴木	主な診療の流れ⑥-2 1) 歯周治療 (六. II-3-A~L)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯周外科治療の内容を概説できる。 ・メンテナンスとSPTの違いを説明できる。
12	7	7	木	3	鈴木	主な診療の流れ⑦-1 1) 歯科補綴 (六. III-1-B, 2-A~E)	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウン作製の手順を説明できる。 ・CAD/CAMシステムについて概説できる。 ・インプラントの基本構造を説明できる。
13	7	8	金	1	鈴木	主な診療の流れ⑦-2 1) 歯科補綴 (六. III-1-B, 3-A・B, 4-A~C, 5-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> ・有床義歯作製の手順を説明できる。 ・有床義歯の分類法を説明できる。
14	7	14	木	3	鈴木	主な診療の流れ⑧ 1) 障がい者歯科 (六. VIII-2-A~G, 2-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> ・ノーマライゼーションとバリアフリーの概念を説明できる。 ・各種障害の種類と特徴を列挙できる。
15	7	21	木	3	鈴木	主な診療の流れ⑨ 1) 高齢者歯科 (六. VII-3-A~E, 4-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の特徴を概説できる。 ・高齢者に特有の口腔疾患を説明できる。
	9	15	木	2	鈴木	定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学習した内容についての理解の程度を把握する。

第1学年 保存修復学(う蝕治療学Ⅰ)

時間数	20時間 (2時間×10回)
担当者	歯学部 歯科保存学講座(う蝕治療学分野) 教授 野田 守 歯学部 歯科保存学講座(う蝕治療学分野) 助教 菅 徹也
一般目標	保存修復学の概要について学び、齶蝕治療とその修復法の種類、各修復法の特徴、術式、使用器材などに関する知識を習得する。
成績評価	筆記試験の成績で評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1・2	8	19	金	1・2	野田	歯の保存療法の種類 1) 歯の保存療法と歯科保存学 2) 対象となる疾患 口腔診査 1 1) 基礎知識と前準備 2) 問診 3) 現症の診査 (六. I-1-A、2-A・B、II-1-A・C)	・保存療法の対象となる疾患について学び、口腔内の検査に使われる歯式、歯面の表示法について説明できる。 ・保存療法の対象となる疾患の検査法について、種類と目的について説明できる。
3・4	8	26	金	1・2	菅	保存修復学の意味と概要 1 1) 保存修復の適応症と禁忌症 2) 齶蝕症 3) 窩洞の分類と名称 4) 処置ステップの流れと概要 ①前準備処置 ②切削・形成法 (六. II-1-A・B・C・E・I)	・保存修復学の概要について学び、齶蝕の分類と名称、好発部位、窩洞の分類について説明できる。 ・保存修復学の処置の概要を学び、防湿法、歯間分離法などの術式や切削器具について説明できる。
5・6	9	2	金	1・2	菅	コンポジットレジン修復 1) 特徴 2) 適応症 3) 手順 セメント修復 1) セメント修復の種類と用途 2) グラスイオノマーセメント修復 3) 合着、裏装用セメント (六. II-1-D)	・コンポジットレジン修復の概要について学び、その種類、操作上の注意点、術式、使用器材について説明できる。 ・セメント修復の概要について学び、その種類、操作上の注意点、術式、使用器材について説明できる。
7・8	10	21	金	1・2	菅	鑄造修復 1) 鑄造修復とは 2) 適応症と禁忌症 3) 手順 審美的修復法 1) ポーセレンインレー 2) レジンインレー 3) ラミネートベニア (六. II-1-D)	・鑄造修復の概要について学び、適応症、禁忌症、術式について説明できる。 ・審美的修復法の適応症と禁忌症を説明できる。
9・10	10	28	金	1・2	野田	まとめ 修復物の維持管理 (六. II-1-G)	・修復物を口腔内で機能させるための歯科衛生士の役割を説明できる。
	11	10	木	2	野田	定期試験	

第1学年 歯内療法学(う蝕治療学Ⅱ)

時間数	20時間 (2時間×10時間)
担当者	歯学部 歯科保存学講座(う蝕治療学分野) 教授 野田 守 歯学部 歯科保存学講座(う蝕治療学分野) 助教 菅 徹也
一般目標	歯内療法関係疾患の概要と術式、使用器材、薬剤、および材料に関する知識を習得する。また、患者の症状や不快感などの訴えを理解し、その対応法について学ぶ。
成績評価	筆記試験の成績で評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法」 (医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時 限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1 ・ 2	11	11	金	1 ・ 2	野田	歯内療法学の概要 1) 歯内療法学とは 2) 歯の痛み 3) 歯髄・根尖歯周組織疾患 歯科衛生士と歯内療法 1) 患者の症状に対する理解 2) 処置内容に対する理解 3) 治療後の患者管理 (六.Ⅱ-2-A~C)	・歯内療法学の概要について理解する。また、象牙質・歯髄・歯周組織のそれぞれに由来する歯の痛みについて説明できる。 ・患者の訴えや、処置内容と処置後の経過について理解し、それらに対して、歯科衛生士としてどう対応するかを説明できる。
3 ・ 4	11	18	金	1 ・ 2	野田	歯髄の保存療法 1) 歯髄鎮静療法 2) 歯髄覆罩(覆髄) 歯髄の除去療法 1) 歯髄切断法(断髄法) 2) 抜髄 (六.Ⅱ-2-D・E)	・歯髄保存療法の種類とその目的、処置法について説明できる。 ・保存不可能な歯髄の処置法、術式、使用器材、薬品、材料について説明できる。
5 ・ 6	12	9	金	1 ・ 2	野田	根管治療 1) 根管治療(感染根管治療)の基本概念 2) 根管治療の術式 根管充填 1) 根管充填 (六.Ⅱ-2-F・H)	・根管治療の概念について学び、その術式、使用器材、薬品、材料について説明できる。 ・根管充填について学び、その術式、使用器材、薬品、材料について説明できる。
7 ・ 8	12	16	金	1 ・ 2	菅	外科的歯内療法 1) 切開・排膿法 2) 脱臼および脱落歯の処置 3) 歯内骨内インプラント 歯内療法における偶発症 1) 治療用器具の根管内破折 2) 根管治療時の根管の穿孔 3) 器具の誤飲(嚥下)・吸引 (六.Ⅱ-2-J・K・L)	・外科的歯内療法の種類と適応症、術式について説明できる。 ・根管治療時に起こり得る偶発症について学び、その対処法を説明できる。
9 ・ 10	1	13	金	1 ・ 2	野田	歯内療法に使われる薬剤・器材 1) 薬剤 2) 器材 まとめ	・歯内療法で使用される薬剤や器材の種類と使用上の注意について説明できる。
	2	6	月	3	野田	定期試験	

第1学年 歯周療法学

時間数	20時間（2時間×10回）
担当者	歯学部 歯科保存学講座(歯周療学分野) 助教 村井 治 歯学部 歯科保存学講座(歯周療学分野) 助教 滝沢 尚希 歯学部 歯科保存学講座(歯周療学分野) 助教 中里 茉那美 歯学部 歯科保存学講座(歯周療学分野) 助教 千葉 学
一般目標	正常な歯周組織の構造および病的な変化について学び、歯周疾患の症状、歯周治療について理解する。歯周病の予防処置、保健指導を適切に行うための知識を身につける。
成績評価	筆記試験の成績(90%)、出席(10%程度)などで総合評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「歯周病学 第2版」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	9	26	月	2	村井	歯周治療とは 1) 歯周疾患現状と治療 2) 歯科衛生業務と歯周治療 正常な歯周組織の構造と機能 1) 歯周組織の構造 2) 歯周組織の機能 (二. I-2-B、六. II-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯周疾患の実態を理解し、歯周治療の概要を説明できる。 ・歯周疾患に関連する指標について説明できる。 ・歯周治療と歯科衛生士の役割について学ぶ。 ・正常な歯周組織の構造、機能、特徴について説明できる。
2	10	3	月	2	千葉	歯周疾患 1) 歯周疾患の分類 2) 歯周疾患の原因 3) 歯周医学 (六. II-3-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯周疾患の分類、症状、原因について説明できる。 ・歯周病と全身疾患との関連について説明できる。
3	10	17	月	2	村井	歯周治療の進め方 1) 歯周疾患の予防と歯周治療の基本 2) 歯周治療の進め方 (六. II-3-E・F)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯周疾患の予防の意義と、歯周治療の原則が説明できる。 ・歯周治療の流れについて説明できる。
4	10	24	月	2	中里	歯周疾患の診査 1) 歯周組織の診査 2) 咬合の診査 3) X線写真による診査 歯周基本治療 1) 歯周基本治療の目的と効果 2) 歯周基本治療の内容と実際 3) 薬物療法 (六. II-3-A・C~F)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯周組織の種々の診査方法、原因因子について説明できる。 ・歯周基本治療の目的と効果、内容と実際について説明できる。 ・歯周病の薬物療法について説明できる。
5	10	31	月	2	中里	歯周外科治療 1) 歯周外科治療の目的と分類 2) 歯周外科治療後の治癒形態 2) 各種歯周外科治療に用いる器材 (六. II-3-H)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯周外科における歯科衛生士の役割と歯周外科治療の目的と種類、術式、適応症、使用器材について説明できる。
6	11	7	月	3	滝沢	中間試験	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
7	11	14	月	2	中里	歯周治療としてのリハビリテーション 1) 咬合調整 2) 矯正治療 3) 歯の固定法 4) インプラントによる治療 (六. II-3-F・G・J)	<ul style="list-style-type: none"> 歯周治療におけるリハビリテーションの目的、種類を説明できる。
8	11	21	月	2	滝沢	歯周治療における歯科衛生士の役割 1 1) 歯周治療の進め方 2) 歯周組織検査・診断時の補助 3) リスクファクターなどに対する指導 (六. II-3-B・E・F)	<ul style="list-style-type: none"> 歯周治療の各段階における歯科衛生士の役割を説明できる。 プラークコントロールとして、ブラッシングおよび補助的清掃用具の指導と食生活指導について説明できる。
9	11	28	月	2	滝沢	歯周治療における歯科衛生士の役割 2 1) スケーリング・ルートプレーニング 2) 歯周外科治療 (六. II-3-F・H)	<ul style="list-style-type: none"> スケーリング・ルートプレーニングの目的、使用スケーラーの種類、構造、基本原則について説明できる。 歯周外科治療時の介助のポイントと使用器材を説明できる。
10	12	5	月	2	滝沢	歯周治療における歯科衛生士の役割 3 1) メインテナンス メインテナンスに移行する時期と内容 2) 診療室器具・器材の管理 (六. II-3-L)	<ul style="list-style-type: none"> メインテナンスの重要性と意義、流れを説明できる。 メインテナンスの内容と時期および歯科衛生士の役割について説明できる。 歯周治療における感染リスクを理解し、適切な器具・器材の管理法を説明できる。 スケーラーのシャープニングの手順を説明できる。
	1	24	火	3	滝沢	定期試験	<ul style="list-style-type: none"> これまで学習した内容についての理解の程度を評価し把握する。

第1学年 歯科補綴学

時間数	30時間 (2時間×15回)
担当者	歯学部 補綴・インプラント学講座 講師 深澤 翔太 歯学部 補綴・インプラント学講座 助教 齊藤 裕美子 歯学部 補綴・インプラント学講座 助教 米澤 悠 歯学部 補綴・インプラント学講座 助教 佐藤 宏明 歯学部 補綴・インプラント学講座 助教 塚谷 颯介 歯学部 補綴・インプラント学講座 助教 野尻 俊樹 教員 佐藤 佳奈枝
一般目標	補綴治療に関わる顎機能、筋機能、咬合について学ぶ。また、補綴治療のステップ、使用器械、使用材料について理解し、適切な診療の補助を行う知識を身に付ける。
成績評価	筆記試験の成績で評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴第2版」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1 ①	9	1	木	1	齊藤	歯科補綴治療とは 1) 歯科補綴治療の意義と目的 2) 補綴装置の種類と適応 3) 補綴治療における診療補助 (六. III-1-A・B)	・補綴治療の概要について学び、補綴装置の種類、補綴治療における診療補助の内容、患者指導について説明することができる。
2 ②	9	22	木	1	齊藤	歯科補綴治療の基礎知識 1 1) 歯列の形態と位置的関係 2) 顎口腔の機能 (六. III-1-A)	・補綴治療に関わる歯列、咬合、咀嚼、嚥下について理解することができる。
3 ③	9	29	木	1	塚谷	歯科補綴治療の基礎知識 2 1) 咬合とその関連事項 2) 歯の欠損・喪失に伴う変化・障害 3) 顎関節症とその異常 (六. III-1-A)	・下顎の運動様式、咬合様式、顎関節の構造、機能、障害について理解する。
4 ④	10	6	木	1	塚谷	クラウン 1) クラウンの分類 2) 臨床ステップ 3) クラウンの技工 4) CAD/CAMクラウン治療 5) 治療に伴うトラブルとその対応 (六. III-1-B, 4-A・B)	・クラウンの種類を学び、臨床のステップ、使用器械、材料について説明できる。 ・クラウンの技工操作について理解できる。 ・CAD/CAMクラウン治療の概要について説明できる。 ・治療に伴うトラブルとその対応について説明できる。
5 ⑤	10	13	木	1	野尻	ブリッジ 1) ブリッジの構成と材料 2) 臨床ステップ 3) ブリッジの技工 4) CAD/CAMブリッジ治療 5) 治療に伴うトラブルとその対応 (六. III-1-B, 5-A・B)	・ブリッジの構成、臨床ステップ、使用器械、材料について説明できる。 ・ブリッジの技工操作について理解できる。 ・CAD/CAMブリッジ治療の概要について説明できる。 ・治療に伴うトラブルとその対応について説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
6・演 ⑥	10	19	水	2・3	佐藤(佳)	補綴歯科治療(クラウン・ブリッジ)における歯科衛生士の役割 (四. II-2-B・C 六. III-1-B、5-D)	・装着後の口腔内清掃について説明できる。 ・補綴処置後におけるメンテナンスの重要性を説明できる。
7 ①	10	20	木	1	佐藤	全部床義歯 1 1) 無歯顎者の病態 2) 全部床義歯の構成要素 (六. III-1-B、2-A~D)	・全部床義歯の概要について学び、無歯顎の生物力学的、生理学的特徴を説明できる。
8 ②	10	27	木	1	深澤	全部床義歯 2 1) 臨床ステップ① 2) 全部床義歯の技工操作① (六. III-1-B・D、2-A~C)	・臨床ステップ、使用器械、材料について説明できる。
9 ③	11	10	木	1	佐藤	全部床義歯 3 1) 臨床ステップ② 2) 全部床義歯の技工操作② 3) 患者指導 (六. III-1-B・D 2-A~C・E)	・臨床ステップ、装着後の口腔内および義歯の管理について説明できる。
10 ④	11	24	木	1	米澤	部分床義歯 1 1) 部分床義歯の分類 2) 部分床義歯の構成要素 (六. III-1-B、2-A~D)	・部分床義歯の概要について学び、部分床義歯の構成要素と役割について説明できる。
11 ⑤	12	8	木	1	米澤	部分床義歯 2 1) 臨床ステップ① 2) 部分床義歯の技工操作① (六. III-1-B・D、2-A~D)	・臨床ステップ、使用器械、材料について説明できる。
12 ⑥	12	15	木	1	深澤	部分床義歯 3 1) 臨床ステップ② 2) 部分床義歯の技工操作② 3) 患者指導 (六. III-1-D、2-E)	・臨床ステップ、装着後の口腔内および義歯の管理について説明できる。
13 ⑦	12	22	木	1	米澤	特別な名称を持つ義歯 1) 治療目的による名称を持つ義歯 2) 構成によって特殊な呼ばれ方を する義歯 3) 有床義歯の補修 (六. III-1-B、6-A・B)	・特殊な義歯の特徴について理解し、有床義歯の補修法について説明できる。
14 ⑧	1	12	木	1	深澤	補綴治療に用いられる器材とその管理 下顎運動および咬合の機能検査 (九. III-1-A)	・器材や材料の使用法、管理法について説明できる。 ・咬合に関する検査と下顎運動、筋機能の検査について説明できる。
15 ⑨	1	17	火	3	佐藤(佳)	補綴歯科治療(有床義歯)における歯科衛生士の役割 (四. II-2-B・C 六. III-1-B、2-E)	・装着後の口腔内清掃について説明できる。 ・補綴処置後におけるメンテナンスの重要性を説明できる。
	2	1	水	1	野尻 深澤	定期試験	

第1学年 口腔外科学(歯科麻酔学を含む)

時間数	30時間 (2時間×15回)
担当者	歯学部 口腔顎顔面再建学講座(口腔外科学分野) 教授 山田 浩之 歯学部 口腔顎顔面再建学講座(口腔外科学分野) 助教 古城 慎太郎 歯学部 口腔顎顔面再建学講座(歯科麻酔学分野) 教授 佐藤 健一
一般目標	口腔外科領域の疾患と全身との関わりについて学び、的確な手術介補や術前術後の説明を行う知識を習得する。また、麻酔の種類と特徴、注意事項について理解する。
成績評価	筆記試験の成績で評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	9	5	月	1	山田	総論 I 1) 口腔外科とは 2) おもな診査・検査と治療法 (六. I-3-A~E、 4-A~C)	・口腔外科領域の主な疾患および診察と診断、検査の方法と意味を学び、歯科衛生士の役割について説明できる。
2	9	12	月	1	山田	総論 II 3) 全身疾患の理解 4) 消毒・滅菌と感染症対策 (六. I-1-B、 九. I-7-A・B)	・口腔外科領域の主な疾患および口腔疾患と全身との関わりを理解し、その中で歯科衛生士の役割について説明できる。また、滅菌と消毒の種類と方法、清潔、不潔について説明できる。
3	9	26	月	1	山田	先天異常と発育異常 1) 歯の異常 2) 先天異常(口唇裂・口蓋裂) 3) 変形 4) 口腔軟組織の異常 5) 症候群 (六. IV-1-A)	・口腔領域の先天異常と発育異常について、発生要因、症状、障害を学び、その処置法について説明できる。
4	10	17	月	1	山田	口腔領域の損傷 1) 歯の外傷 2) 顎骨骨折 3) 粘膜組織の損傷 (六. IV-1-B)	・口腔領域の損傷について、原因、症状を学び、その処置法について説明できる。
5	10	24	月	1	山田	口腔粘膜疾患 1) 水疱、紅斑を主徴とする疾患 2) 潰瘍、白斑を主徴とする疾患 3) その他の異常ないしは疾患 (六. IV-1-C)	・各種口腔粘膜疾患の特徴と治療の基本を説明できる。
6	10	31	月	1	山田	口腔領域の炎症 1) 歯周組織の炎症 2) 顎骨の炎症 (六. IV-1-D) 顎関節疾患 1) 顎関節症 2) 顎関節の外傷 (六. IV-1-G)	・歯槽部、顎骨および周囲組織の炎症の感染経路、症状および治療の基本を説明できる。 ・各種顎関節疾患の症状と治療の基本を説明できる。
7	11	7	月	1	山田	口腔領域の嚢胞 1) 顎骨内にできる嚢胞 2) 軟組織に生じる嚢胞 (六. IV-1-E) 口腔領域の腫瘍および類似疾患 1 1) 歯原性腫瘍 (六. IV-1-F)	・顎骨および口腔軟組織に発生する各種嚢胞の特徴と治療の基本を説明できる。 ・顎口腔領域の腫瘍と腫瘍類似疾患の種類と特徴を説明できる。 ・歯原性腫瘍の特徴と治療の基本を説明できる。
8	11	11	金	4	山田	中間試験	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
9	11	14	月	1	古城	口腔領域の腫瘍および類似疾患 2 1) 良性腫瘍 2) 悪性腫瘍 3) 前癌病変 4) 腫瘍類似疾患 (六. IV-1-F)	<ul style="list-style-type: none"> 顎口腔領域の良性腫瘍、悪性腫瘍および腫瘍類似疾患の種類と特徴および治療の基本を説明できる。
10	11	21	月	1	山田	唾液腺の疾患 1) 炎症 2) 腫瘍 3) その他の疾患 (六. IV-1-H)	<ul style="list-style-type: none"> 唾液腺疾患の特徴と治療の基本を説明できる。
11	11	28	月	1	山田	口腔領域の神経疾患 1) 神経痛 2) 神経麻痺 3) 舌痛症 (六. IV-1-I) 血液疾患と出血性素因 1) 赤血球系の疾患 2) 白血球系の疾患 3) 出血性素因 (六. IV-1-J)	<ul style="list-style-type: none"> 口腔・顎顔面領域の神経疾患の特徴を説明できる。 口腔に症状を現わす血液疾患の特徴を説明できる。
12	12	2	金	2	佐藤	歯科麻酔と歯科衛生士 安全な歯科治療のため患者の全身状態を把握し、その対応法を理解する (六. IV-4-A~C) 九. V-5-A, XI-2-D)	<ul style="list-style-type: none"> 全身状態の評価法を説明できる。 バイタルサインの意味と見方を説明できる。 ストレスに対する生体の反応を説明できる。 緊急時の対応法を列挙できる。
13	12	9	金	4	佐藤	麻酔法・精神鎮静法 麻酔法、精神鎮静法について理解する (六. IV-3-A~C) 九. V-5-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> 局所麻酔法とその介助法について説明できる。 精神鎮静法とその介助法について説明できる。 全身麻酔法について説明できる。
14	12	12	月	1	山田	創傷処置 拔牙術 1) 適応症と禁忌症 2) 拔牙の実際と介助 (六. IV-2-A・C)	<ul style="list-style-type: none"> 創傷の処置と治癒過程について学ぶ。また、拔牙術の適応症、禁忌症と、術式について説明できる。
15	12	19	月	1	山田	口腔外科小手術 1 1) 歯槽整形および骨瘤除去手術 2) 口腔インプラント 3) 切開・排膿 4) 嚢胞摘出術 (六. IV-2-B・D・E・F)	<ul style="list-style-type: none"> 各小手術の術式と使用器材、介補について説明できる。
	1	25	水	1	山田 佐藤	定期試験	

第1学年 小児歯科学

時間数	30時間 (2時間×15回)
担当者	歯学部 口腔保健育成学講座(小児歯科学分野) 教授 森川 和政
一般目標	心身の発達途上にある小児と、小児期の口腔疾患について学び、適切な診療補助を行う能力を身につける。また、効果的な予防処置法および口腔保健指導を行う知識を習得する。
成績評価	筆記試験の成績で総合評価する。
教科書	新歯科衛生士教育マニュアル「小児歯科学」(クインテッセンス)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	9	20	火	3	森川	小児歯科学概論 1) 小児歯科学とは 心身の発育 1) 発育の概念と分類 2) 小児の生理的特徴 (六. VI-1-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 小児歯科と一般歯科の違いについて説明できる。 小児の発育と生理的特徴について理解する。
2	9	29	木	3	森川	顔面頭蓋の発育 1) 顎顔面頭蓋の発育 2) 顎の発育 歯の発育と異常 1 1) 歯の形成 (六. VI-1-E・F)	<ul style="list-style-type: none"> 顎顔面頭蓋の成長発育の過程と発育の評価法、および歯の形成、発育段階について理解する。
3	10	6	木	3	森川	歯の発育と異常 2 1) 歯の萌出と萌出異常 歯列・咬合の発育と異常 (六. VI-1-G・H)	<ul style="list-style-type: none"> 乳歯、永久歯の萌出時期と萌出順序について説明できる。 歯列、咬合の発育段階とその特徴について理解する。
4	10	11	火	1	森川	乳歯・幼若永久歯の特徴と齲蝕 1) 乳歯・幼若永久歯の特徴 2) 乳歯・幼若永久歯の齲蝕 (六. VI-1-I, 2-B)	<ul style="list-style-type: none"> 乳歯、幼若永久歯の永久歯との違いを説明できる。
5	10	20	木	3	森川	小児の歯科疾患 1) 小児にみられる口腔軟組織の異常と疾患 2) 小児にみられる歯周疾患 (六. VI-2-B)	<ul style="list-style-type: none"> 小児期の口腔内疾患、歯周疾患の特徴を説明できる。
6	10	27	木	3	森川	小児期の特徴と歯科的問題点 1) 低年齢児の特徴 2) 学童期、思春期の特徴 (六. VI-1-C, 3-A) 小児歯科診療体系の流れ 1 1) 小児の歯科診療とその特徴 (六. VI-4-A~I)	<ul style="list-style-type: none"> 小児期の特徴について学び、歯科的問題点について説明できる。 小児歯科診療の概要について学ぶ。
7	11	8	火	4	森川	小児歯科診療体系の流れ 2 1) 小児歯科における齲蝕予防処置 (六. VI-4-J)	<ul style="list-style-type: none"> 小児歯科の齲蝕予防処置法として、歯口清掃法、食生活指導、フッ化物応用などについて説明できる。
8	11	22	火	4	森川	中間試験	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
9	11	24	木	3	森川	患児の対応法 1) 患児・保護者と歯科医師・歯科衛生士との関係 2) 診療室における小児の態度と行動 (六. VI-3-A・B 九. VII-1-B)	<ul style="list-style-type: none"> 小児の行動について学び、診療室における患児や保護者への対応法や注意点について理解する。 非協力的な患児に対する対応法について説明できる。
10	12	1	木	3	森川	小児歯科における診療補助の原則 1) 小児歯科診療における補助 2) 小児患者における麻酔法 (六. VI-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> 小児歯科診療における診療補助者の役割と小児歯科特有の注意点について説明できる。
11	12	8	木	3	森川	診療補助 1-① 1) 診査 2) 診査時に行う検査と資料採取 3) 小児・乳歯の歯冠修復 (六. VI-4-A・D)	<ul style="list-style-type: none"> 小児歯科における検査と小児の歯冠修復、乳歯の歯冠修復の特徴、注意点、術式について説明できる。
12	12	15	木	3	森川	診療補助 1-② 1) 乳歯の歯冠修復 2) 小児の歯内療法 (六. VI-4-D・E)	<ul style="list-style-type: none"> 乳歯の歯冠修復、小児の歯内療法における特徴、術式、使用器材について説明できる。
13	12	22	木	3	森川	診療補助 1-③ 1) 乳歯歯内療法の手順と器具 2) 幼若永久歯の歯内療法 (六. VI-4-E)	<ul style="list-style-type: none"> 乳歯、幼若永久歯の歯内療法における特徴、注意点、術式、使用薬剤、使用器具について説明できる。
14	1	12	木	3	森川	診療補助 2-① 1) 乳歯の抜歯 2) 小児の歯の外傷 3) 小児に対する薬物処方 (六. VI-4-B・G・H)	<ul style="list-style-type: none"> 小児の外科処置に関する知識を学び、適切な診療補助法について説明できる。
15	1	19	木	3	森川	診療補助 2-② 1) 咬合誘導治療 (六. VI-4-I) 定期検診(リコール) 1) 定期検診の目的と方法 (六. VI-4-J)	<ul style="list-style-type: none"> 小児の咬合誘導、定期検診について説明できる。
	2	1	水	2	森川	定期試験	

第1学年 矯正歯科学

時間数	30時間（2時間×15回）
担当者	歯学部 口腔保健育成学講座(歯科矯正学分野) 准教授 間山 寿代 歯学部 口腔保健育成学講座(歯科矯正学分野) 助教 畠山 慧
一般目標	矯正治療の目的や不正咬合の状態と治療方法などを学び、適切な診療補助を行う能力を身につける。また、矯正治療中の口腔清掃指導や、患者管理を行うことができる知識を習得する。
成績評価	筆記試験の成績で総合評価する。
教科書	新歯科衛生士教育マニュアル「歯科矯正学」(クインテッセンス出版)
参考書	「カラーアトラスハンドブック 矯正歯科臨床ヒント集」(クインテッセンス出版) 歯科臨床ハンドブック「矯正歯科臨床ヒント集ダイジェスト版」(クインテッセンス出版)

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	9	1	木	2	間山 畠山	歯科矯正学概論 1) 歯科矯正学とは 2) 矯正歯科治療の目的と意義 矯正歯科治療における歯科衛生士の役割 1 1) 矯正治療中の口腔衛生指導 2) 矯正患者における歯科衛生過程 (五. I-3-A~E, 4-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 矯正歯科治療の目的と意義を説明できる。 矯正歯科治療での歯科衛生士の役割を説明できる。
2	9	22	木	2	間山 畠山	成長・発育 1) 成長・発育とは 2) 頭蓋および顎顔面の成長発育 3) 歯列と咬合の発育 4) 口腔機能の発達 (六. V-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> 頭蓋および顎顔面、歯と歯列の成長・発育について説明できる。 嚥下・咀嚼機能の発達について説明できる。
3	9	29	木	2	間山 畠山	咬合 1) 正常咬合と不正咬合 2) 不正咬合の予防 3) 不正咬合による障害 (六. V-1-B~D)	<ul style="list-style-type: none"> 正常咬合について説明できる。 不正咬合の種類とその原因について列挙できる。
4	10	13	木	2	間山 畠山	矯正歯科治療における検査・分析・診断 1) 矯正歯科治療の流れ 2) 診断に必要な検査 3) 症例分析法 (六. V-2-B, 九. VI-2-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> 矯正歯科治療における診断法を理解し、必要な検査項目を列挙し、その意義を説明できる。
5	10	20	木	2	間山 畠山	矯正力と歯の移動 1) 矯正力 2) 歯の移動様式 3) 歯の移動と組織反応 4) 固定 (六. V-2-C, D)	<ul style="list-style-type: none"> 矯正力と移動する歯、固定源の関係を説明できる。 歯が移動する際の歯周組織反応を説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
6	10	27	木	2	間山 島山	矯正歯科用の材料・器具 1)材料 2)器具・器械 (九. VI-1~4)	・矯正歯科治療に使用する材料、器具について説明できる。
7	11	14	月	3	間山 島山	矯正装置 1)器械的矯正装置 2)機能的矯正装置 (六. V-3-A・B)	・矯正装置の分類法を理解できる。
8	11	24	木	2	間山 島山	保定と後戻り 1)保定の意義 2)保定装置 3)後戻りとは 矯正歯科治療の不快事項 (六. V-2-D・E, 3-C)	・保定の種類と再発の要因について理解できる。 ・偶発症について説明できる。
9	12	2	金	1	間山 島山	中間試験・中間試験解説	
10	12	8	木	2	間山 島山	矯正歯科治療の実際 1 1)叢生 2)上顎前突 3)下顎前突 4)上下顎前突 (六. V-2-A~E, 3-A~C)	・各不正咬合の特徴を説明できる。 ・矯正歯科治療の流れを説明できる。
11	12	15	木	2	間山 島山	矯正歯科治療の実際 2 5)過蓋咬合 6)開咬 7)交叉咬合 (六. V-2-A~E, 3-A~C)	・不正咬合をもたらす主な異常と矯正治療の流れを理解する。
12	12	22	木	2	間山 島山	矯正歯科治療の実際 3 8)先天異常 9)顎変形症 10)歯の埋伏と歯数の異常 (六. V-2-A~E, 3-A~C)	・不正咬合をもたらす主な異常と矯正治療の流れを理解する。
13	1	12	木	2	間山 島山	矯正歯科における口腔衛生管理 1)口腔衛生管理 2)口腔筋機能療法 (八. III-3-A・B、 九. VI-3-F)	・矯正歯科治療について理解し、患者や患者の家族に装置の目的や使用法、注意事項を説明できる。
14	1	19	木	2	間山 島山	まとめ	・講義で得た知識を臨床で実践できるよう、矯正歯科治療について総合的に理解を深める。
15	1	30	月	1	間山 島山	定期試験	

第1学年 う蝕予防処置法

時間数	10時間（2時間×5回）＋ 演習2回
担当者	教員 鳥畑 美香 非常勤講師
一般目標	う蝕の原因を理解し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるための歯科衛生士の業務であるう蝕を予防する処置の技術・技能・および態度を習得する。
成績評価	筆答により評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版」（医歯薬出版）
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	8	22	月	4	鳥畑	第1講義室	基礎知識・総論 1)う蝕の病因と進行 2)う蝕予防処置の種類と目的 (四. I-5-A、III-1-A~D、 2-A 七. I-1-A、2-B)	<ul style="list-style-type: none"> う蝕の原因と進行、予防方法について説明できる。 歯科衛生士が行うう蝕予防処置の法的位置づけについて説明できる。
2	8	29	月	4	鳥畑	第1講義室	フッ化物の基礎知識 1)フッ化物とは 2)フッ化物のう蝕予防効果 フッ化物の応用 1)フッ化物歯面塗布法 2)フッ化物洗口法 3)フッ化物配合歯磨剤 4)フッ化物応用における 注意事項 (四. III-2-A・D、3-A~E 七. I-1-C、III-3-A~C、 4-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> フッ化物の基礎知識および予防効果について説明できる。 フッ化物応用の種類と特徴について理解し、う蝕予防の効果を説明できる。 フッ化物製剤の種類と濃度を説明できる。 フッ化物応用における注意事項を説明できる。
3	9	1	木	3	鳥畑	第1講義室	フッ化物洗口法 1)使用製剤 2)対象年齢 3)洗口方法 4)実施上の注意点 5)洗口実習 (四. III-2-A・D、3-D・E 七. III-4-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> 使用製剤の種類、濃度および取り扱い方を説明できる。 対象年齢と洗口方法を説明できる。 フッ化物洗口法実施上の注意点を説明できる。 フッ化物洗口剤を調整し、正しい洗口方法で実施できる。
4・ 演習	11	30	水	3・ 4	鳥畑 非常勤講師	第1実習室	フッ化物歯面塗布法 1)フッ化物歯面塗布法の種類 2)フッ化物製剤の種類 3)術後指導 フッ化物歯面塗布法 (マネキン実習) 1)簡易防湿 2)綿棒塗布法(溶液) (四. III-2-A・D、3-D・E 七. III-3-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> フッ化物歯面塗布法の適応歯と術式を理解できる。 使用するフッ化物製剤の種類と取扱いを説明できる。 フッ化物歯面塗布後の術後指導内容を説明できる。 簡易防湿の目的を理解し実施できる。 フッ化物歯面塗布を安全に実施できる。
5・ 演習	12	1	木	1・ 2	鳥畑 非常勤講師	第3・4実習室	フッ化物歯面塗布法 (学生相互実習) 1)簡易防湿 2)綿棒塗布法(溶液) (四. III-2-A・D、3-D・E 七. III-3-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> フッ化物歯面塗布を安全に実施できる。 フッ化物塗布後の術後指導ができる。
	1	26	木	2	鳥畑	第1講義室	定期試験	

第1学年 歯周病予防処置法

時間数	60時間 (2時間×30回) + 演習5回
担当者	教員 太田彩香 非常勤講師
一般目標	歯周病を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技術、および態度を習得する。
成績評価	筆答(90%)と実習態度(10%)により評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	5	6	金	2	太田	第1講義室	歯周病予防処置総論 歯周病予防処置の定義・種類・内容 (四.IV-2-A 七.I-1-A、3-B・C)	<ul style="list-style-type: none"> 歯科衛生士法における歯科予防処置に関する用語を説明できる。 歯科衛生士業務のひとつである歯科予防処置の定義と種類を説明できる。 予防的歯石除去法の内容を説明できる。
2	5	13	金	2	太田 非常勤講師	第1実習室	スクレーリングの概要 1. 歯周診査用器材 2. 手用スクレーラーの種類 3. 鎌型スクレーラー・ キュレットスクレーラーの特徴 (七.I-2-A、 II-2-A、4-A)	<ul style="list-style-type: none"> 歯周診査用器材の名称、形態および使用目的を説明できる。 手用スクレーラーの種類、名称、形態の特徴を説明できる。 鎌型スクレーラーとキュレットスクレーラーについて形態の特徴を説明できる。
3	5	18	水	3	太田 非常勤講師	第1実習室	マネキン操作 1. マネキンの基本位置 デンタルミラーの使用法 1. ミラーの使用上の注意 (七.I-3-A・C)	<ul style="list-style-type: none"> マネキンを実習台に装着し、操作できる。 患者体位と術者の位置について説明できる。 デンタルミラーの役割、操作上の注意について説明できる。
4	5	25	水	3	太田 非常勤講師	第1実習室	鎌型スクレーラーの基本操作 1. 使用目的と種類 2. スクレーラーの把持・固定・動かし方 3. スクレーラーの操作方法 操作上の注意 (七.I-3-A、II-4-A)	<ul style="list-style-type: none"> 鎌型スクレーラーの基本操作の原則について説明できる。 顎模型上にて鎌型スクレーラー操作ができる。
5	5	31	火	4	太田 非常勤講師	第1実習室	鎌型スクレーラー／マネキン実習 1. 上顎前歯 唇側・口蓋側 (七.I-3-A、II-4-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> マネキン上にて上顎前歯部唇側、口蓋側の鎌型スクレーラー操作ができる。
6	6	7	火	4	太田 非常勤講師	第1実習室	鎌型スクレーラー／マネキン実習 1. 下顎前歯 唇側・舌側 (七.I-3-A、II-4-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> マネキン上にて下顎前歯部唇側、舌側の鎌型スクレーラー操作ができる。
	6	28	火	3・4	太田 非常勤講師	第1実習室	鎌型スクレーラー／実技試験	<ul style="list-style-type: none"> マネキン上にて鎌型スクレーラーを正しく選択し、操作できる。
7	9	6	火	3	太田 非常勤講師	第1実習室	探針の基本操作 1. 使用目的と種類 2. 探針の把持・固定・動かし方 3. 探針の操作方法 操作上の注意 (七.I-3-A・C、II-2-C)	<ul style="list-style-type: none"> 探針の使用目的と種類について説明できる。 顎模型上にて探針操作ができる。
8	9	13	火	3	太田 非常勤講師	第1実習室	簡易防湿・探針基本操作 /マネキン実習 (七.I-3-A・C、II-2-C)	<ul style="list-style-type: none"> 簡易防湿の目的を理解し、実施できる。 各部位に合った歯肉縁下診査用探針の選択ができる。 探針操作時のポジショニングを理解し、顎模型上にて操作ができる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
9・10・演習	9	14	水	1・2・3	太田 非常勤講師	第3・4 実習室	スケーリング前処置 ／学生相互実習 1. 口腔内洗浄 2. 歯石の探知(探針・エア) 3. バキューム・スリーウェイシリンジ操作 (七. I - 3 - A・C、II - 2 - C)	・ 学生相互の口腔内において、口腔内洗浄、歯石の探知、バキューム、スリーウェイシリンジの操作ができる。 ・ 口腔内への綿球落下時の対応を理解できる。
11・12・13	9	28	水	2・3・4	太田 非常勤講師	第3・4 実習室	スケーリング／学生相互実習 1. 下顎前歯部 (七. I - 3 - A・C、 II - 4 - A・B)	・ 学生相互の口腔内において、下顎前歯部の歯石の探知、スケーラー操作ができる。
14	11	25	金	1	太田 非常勤講師	第1実習室	超音波スケーラーの特徴 操作 1. 超音波スケーラーの仕組み 2. 操作方法 3. バキューム操作 補助者として " 一人で行う場合 4. エアスケーラーとの比較 超音波スケーラーの取り扱い (七. II - 4 - A・B)	超音波スケーラーとエアスケーラーを ・ 比較しながら、超音波スケーラーの特徴を説明できる。 ・ 超音波スケーラーの操作とバキューム操作ができる。
15				2		第3・4 実習室		
演習	11	29	火	2・3	太田 非常勤講師	第3・4 実習室	超音波スケーラー／マネキン実習 1. ユニットへの接続方法 2. 収納方法 3. 超音波スケーラーでのスケーリング 4. バキューム操作 (七. II - 4 - A・B)	・ 各種超音波スケーラーをユニットに接続し、収納することができる。 ・ 人工歯石付マネキン上にて、バキューム操作と併用して、超音波スケーラーを使用しての歯石除去を行うことができる。
16・17・18	12	6	火	1・2・3	太田 非常勤講師	第3・4 実習室	超音波スケーラー／学生相互実習 1. 超音波スケーラーでのスケーリング(上顎) 2. バキューム操作 (七. II - 4 - A・B)	・ 実際の口腔内にて、バキューム操作と併用して、超音波スケーラーを使用しての歯石除去を行うことができる。
19	12	7	水	1	太田	第1実習室	歯面研磨法 1. 各種研磨器具の種類 (七. I - 3 - A・C、II - 5 - A)	・ スケーリング後の歯面研磨について注意事項を説明できる。
20	12	12	月	2	太田 非常勤講師	第1実習室	歯面研磨法／マネキン実習 1. エンジン用器具による部位別 操作法 2. 手用器具による隣接面研磨 (七. I - 3 - A・C、II - 5 - A)	・ スケーリング後の歯面研磨について注意事項を説明できる。また、マネキン上でエンジン用器具及び手用器具による部位別の歯面研磨ができる。
21・22・23	12	13	火	1・2・3	太田 非常勤講師	第3・4 実習室	歯面研磨/学生相互実習 1. 前歯部 (七. I - 3 - A・C、II - 5 - A)	・ 学生相互の口腔内において、エンジン用器具及び手用器具による部位別の歯面研磨ができる。
24・25・演	12	14	水	1・2・3	太田 非常勤講師	第3・4 実習室	歯面研磨/学生相互実習 1. 臼歯部 (七. I - 3 - A・C、II - 5 - A)	・ 学生相互の口腔内において、エンジン用器具及び手用器具による部位別の歯面研磨ができる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
26 ・ 27	12	23	金	1 ・ 2	太田 非常勤講師	第1実習室	歯周組織検査／マネキン実習 1. 歯周ポケット測定 2. クリニカルアタッチメントレベル 3. 歯の動揺度 4. 付着歯肉幅 5. 測定値の記録 (七. I-3-A・B、 II-2-A~C・E)	・ 歯周組織検査の目的を説明できる。また、マネキン上にて歯周組織検査の各手技を行うことができる。
演習	1	12	木	4	太田 非常勤講師	第1実習室	歯周組織検査／マネキン実習 1. 歯周ポケット測定 2. クリニカルアタッチメントレベル 3. 歯の動揺度 4. 付着歯肉幅 (七. I-3-A・B、 II-2-A~C・E)	・ 歯周組織検査の目的を説明できる。また、マネキン上にて部位別に歯周組織検査ができる。
28 ・ 29 ・ 30	1	16	月	1 ・ 2 ・ 3	太田 非常勤講師	第3・4 実習室	歯周組織検査／学生相互実習 (下顎) 1. 歯周ポケット測定 2. クリニカルアタッチメントレベル 3. 歯の動揺度 4. 付着歯肉幅 (七. I-3-A・B II-2-A~C・E)	・ 学生相互の口腔内において、歯周組織検査の各手技を行うことができる。
	1	31	火	1	太田	第1講義室	定期試験(筆答)	

第1学年 口腔保健管理法

時間数	60時間（2時間×30回）＋ 演習36回
担当者	教員 金子由美子 教員 鳥畑美香 非常勤講師
一般目標	生涯を通じた継続的な口腔保健管理法をライフステージごとに実践できる能力を身につけることを目的として、口腔や歯の健康を維持増進するための口腔清掃法を習得する。特に、障害者に対する口腔保健管理法は臨地実習と連携をとり、その進め方について習得する。
成績評価	筆答により評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版」(医歯薬出版) オーラルヘルスクエア事典(学建書院)
参考書	歯ブラシ辞典

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	11	月	3	金子	第1講義室	口腔保健管理の概要 口腔の基礎知識 (二. I - 1 - B)	<ul style="list-style-type: none"> 口腔保健の定義について説明できる。 正常な口腔の構成要素を説明できる。 歯・口腔の機能について説明できる。
2	4	13	水	4	金子	第1講義室	齶蝕と歯周病の基礎知識 (三. II - 8 - A・B、 四. I - 5 - A)	<ul style="list-style-type: none"> 齶蝕の分類および原因とプロセスを説明できる。 歯周病の分類および原因とプロセスを説明できる。
3	4	18	月	3	金子	第1講義室	P 1) 口腔内観察のポイント 2) 口腔内観察の記録方法 (七. I - 2 - A～C)	<ul style="list-style-type: none"> 歯・口腔の観察・記録をすることができる。 歯・口腔の疾患と異常の観察ができる。 歯・口腔の付着物と沈着物の観察ができる。
4	4	20	水	4	金子	第1講義室	口腔清掃指導法 1) 口腔清掃 2) 歯・口腔の役割 3) 口腔清掃の位置づけ 4) 口腔清掃法 (四. II - 1 - A～B)	<ul style="list-style-type: none"> ブラークコントロールの意義を説明できる。 口腔清掃方法の種類と特徴を列挙できる。 セルフケアとプロフェッショナルケアについて、説明できる。
5	4	27	水	4	金子	第1講義室	口腔清掃方法 1 1) 歯ブラシの種類 (四. II - 2 - A、 八. III - 1 - A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 歯ブラシの構成と種類、特徴について理解できる。 歯ブラシの選択と使用方法について説明できる。 電動歯ブラシの特徴について説明できる。
6	5	2	月	3	金子	第1講義室	口腔清掃方法 2 1) 歯磨剤 2) 洗口剤 (四. II - 3 - A～C、4 - A～B、 八. III - 1 - B、2 - B)	<ul style="list-style-type: none"> 歯磨剤と洗口剤の種類・組成および配合目的について説明できる。 歯磨剤・洗口剤・保湿剤の特徴と使用方法について説明できる。 フッ化物配合歯磨剤・フッ化物配合洗口剤の使用方法を説明できる。
演習	5	2	月	4	金子	第1講義室	演習講義① 1) 知識の定着 2) 問題解決能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 講義で理解できなかった項目を列挙する。 学習方法を説明できる。 理解した項目を身に付ける。
7	5	17	火	3	金子	第1講義室	口腔清掃方法 3 1) ブラッシング方法① 毛先を使ったブラッシング方法 (四. II - 5 - A、八. III - 2 - B)	<ul style="list-style-type: none"> 各種ブラッシング方法の特徴を説明できる。 ブラッシング方法の選択と指導法について説明できる。 毛先を使ったブラッシング方法を実施できる。
8	5	24	火	3	金子	第1講義室	口腔清掃方法 4 1) ブラッシング方法② わき腹を使ったブラッシング方法 2) 口腔清掃の誤用とその弊害 (四. II - 5 - A、八. III - 2 - B)	<ul style="list-style-type: none"> 各種ブラッシング方法の特徴を説明できる。 ブラッシング方法の選択と指導法について説明ができる。 わき腹を使ったブラッシング方法を実施できる。 口腔清掃の為害作用について説明できる。
9	5	25	水	4	金子	第2実習室	口腔清掃方法 5 1) 補助清掃用具① (四. II - 1 - B、2 - B・C、 5 - D 八. III - 1 - A、2 - C・D)	<ul style="list-style-type: none"> 補助清掃用具の種類と特徴、適応を説明できる。 補助清掃用具の選択と使用方法の説明ができる。 各種補助清掃用具を取り扱うことができる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
10	5	26	木	3	金子	第2実習室	口腔清掃方法 6 1)補助清掃用具② (四.Ⅱ-1-B、2-B・C、 4-D 八.Ⅲ-1-A、2-C・D)	<ul style="list-style-type: none"> 補助清掃用具の種類と特徴、適応を説明できる。 補助清掃用具の選択と使用法の説明ができる。 各種補助清掃用具を取り扱うことができる。
演習	5	26	木	4	金子	第2実習室	口腔清掃方法 7 1)補助清掃用具③ (四.Ⅱ-1-B、2-B・C、 4-D 八.Ⅲ-1-A、2-C・D)	<ul style="list-style-type: none"> 補助清掃用具の種類と特徴、適応を説明できる。 補助清掃用具の選択と使用法の説明ができる。 各種補助清掃用具を取り扱うことができる。 各種補助清掃用具を実技として行うことができる。
11	5	31	火	3	金子	第2実習室	口腔内観察 2 1)歯垢染色剤 (四.Ⅱ-5-C)	<ul style="list-style-type: none"> 歯垢染色剤の特徴について説明できる。 歯垢染色剤の種類を列挙できる。 染色剤を取り扱うことができる。
12・演習	6	2	木	3・4	金子 非常勤講師	第2実習室	口腔内観察 3 1)歯垢染色剤による観察・1	<ul style="list-style-type: none"> 歯垢染色剤の特徴と操作方法について説明できる。 歯垢染色剤の注意点を説明できる。 歯垢染色剤の種類を列挙できる。 歯垢染色剤を使用し、口腔内観察ができる。 歯・口腔の観察・記録をすることができる。
13・演習	6	8	水	3・4	金子 非常勤講師	第2実習室	口腔内観察と口腔清掃方法 1)歯垢染色剤による観察・2 2)ブラッシング方法・1 (四.Ⅱ-4-C 八.Ⅲ-2-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 歯垢染色剤の特徴と操作方法について説明できる。 歯垢染色剤の目的と使用法の説明ができる。 歯・口腔の観察・記録をすることができる。 各種ブラッシング方法の特徴を説明できる。 口腔内の状況を把握したブラッシング方法の選択ができる。 各種ブラッシング方法を実施できる。
演習	6	9	木	3・4	金子 非常勤講師	第2実習室	口腔清掃方法 7 1)歯垢染色剤による観察・3 2)ブラッシング方法・2 3)補助清掃用具 (四.Ⅱ-1-B、2-B・C、 5-A・C・D 八.Ⅲ-1-A、2-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 歯垢染色剤の目的と使用法の説明ができる。 歯・口腔の観察・記録をすることができる。 口腔内の状況を把握したブラッシング方法の選択ができる。 各種ブラッシング方法を実施できる。 各種補助清掃用具を取り扱うことができる。
演習	6	17	金	2	金子	第1講義室	演習講義② 1)知識の定着 2)問題解決能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 講義で理解できなかった項目を列挙する。 学習方法を説明できる。 理解した項目を身に付ける。
14	6	27	月	3	鳥畑	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(I) 1)乳児期 (八.Ⅲ-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> 乳児期の一般的特徴、口腔の特徴、歯科保健行動を説明できる。 ライフステージに応じた歯科保健指導ができる。
演習	6	29	水	1	鳥畑	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(Ⅱ) 1)幼児期 (八.Ⅲ-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児期の一般的特徴、口腔の特徴、歯科保健行動を説明できる。 ライフステージに応じた歯科保健指導ができる。
15	7	1	金	2	金子	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(Ⅲ) 1)学齢期 (八.Ⅲ-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> 学齢期の一般的特徴、口腔の特徴、望ましい歯科保健行動を説明できる。 ライフステージに応じた歯科保健指導ができる。
16	7	8	金	2	金子	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(Ⅳ) 1)青年期・成人期 (八.Ⅲ-3-A、Ⅳ-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> 青年期・成人期の一般的特徴、口腔の特徴、望ましい歯科保健行動を説明できる。 ライフステージに応じた歯科保健指導ができる。 非感染性疾患(NCDs)を有する対象者の指導ができる。
17・18	7	22	金	2・3	金子	第1講義室	分析のためのデータ 1 1)口腔衛生状態の指数 (四.Ⅵ-1-C、八.Ⅱ-1-E、 Ⅲ-2-A)	<ul style="list-style-type: none"> 口腔清掃状態の指数を説明できる。 口腔清掃状態の評価ができる。
19・20	8	18	木	3・4	金子	第1講義室	分析のためのデータ 3 1)歯周疾患の指数 (四.Ⅳ-1-B、Ⅵ-1-B、 八.Ⅱ-1-E、Ⅲ-2-A)	<ul style="list-style-type: none"> 歯周疾患の指数を説明できる。 歯周疾患の評価ができる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
21・演習	8	29	月	1・2・3	金子 非常勤講師	第2実習室	口腔清掃方法 8 1) 歯垢染色剤による観察・4 2) 口腔衛生状態の指数 3) 歯周疾患の指数 (四.Ⅱ-1-B、Ⅵ-1-B)	・ 歯・口腔の観察・記録をすることができる。 ・ 口腔清掃状態の評価ができる ・ 歯周疾患の評価ができる。
演習	8	31	水	4	金子	第1講義室	演習講義③ 1) 知識の定着 2) 問題解決能力の向上	・ 講義で理解できなかった項目を列挙する。 ・ 学習方法を説明できる。 ・ 理解した項目を身に付ける。
演習	9	14	水	4	鳥畑	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(V) 1) 障害児者 (八.Ⅲ-3-A・B)	・ 障害児者の一般的特徴、口腔の特徴、歯科保健行動を説明できる。 ・ 障害児者に応じた歯科保健指導ができる。
22・演習	9	20	火	1・2	鳥畑	第1講義室	口腔保健管理の実際 1 1) 知的障害者に対する指導 (知的障害者の理解) (四.Ⅶ-6-B、八.Ⅲ-3-A・B)	・ 臨地実習:知的障害者支援施設「緑生園」実習の内容を理解できる。
23・演習	9	21	水	2・4	鳥畑 非常勤講師	第1講義室 第2実習室 実験室	口腔保健管理の実際 2 1) 緑生園実習準備 2) 想定演習 (四.Ⅶ-6-B、八.Ⅲ-3-A・B)	・ 臨地実習:知的障害者支援施設「緑生園」における個人指導の内容をシミュレートし演示することができる。
演習	9	26	月	3・4	鳥畑 非常勤講師	第1講義室 第2実習室 実験室	口腔保健管理の実際 3 1) 緑生園実習準備 2) 想定演習 (四.Ⅶ-6-B、八.Ⅲ-3-A・B)	・ 臨地実習:知的障害者支援施設「緑生園」における個人指導の内容をシミュレートし演示することができる。
演習	10	3	月	3・4	鳥畑	第1講義室	口腔保健管理の実際 4 1) 想定演習(グループワーク) (四.Ⅶ-6-B、八.Ⅲ-3-A・B)	・ 各症例において、歯科的問題点を抽出し列挙できる。 ・ 歯科的問題点の原因を考察できる。 ・ 歯科的問題点に対する指導内容を決定できる。 ・ 指導方法・指導媒体を選択できる。
演習	10	4	火	1・2	鳥畑 非常勤講師	第1講義室 第2実習室 実験室	口腔保健管理の実際 5 1) 緑生園実習準備 2) 想定演習 (四.Ⅶ-6-B、八.Ⅲ-3-A・B)	・ 臨地実習:知的障害者支援施設「緑生園」における個人指導の内容をシミュレートし演示することができる。
演習	10	11	火	3・4	鳥畑 非常勤講師	第1講義室 第2実習室 実験室	口腔保健管理の実際 6 1) 緑生園実習準備 2) 想定演習 (四.Ⅶ-6-B、八.Ⅲ-3-A・B)	・ 臨地実習:知的障害者支援施設「緑生園」における個人指導の内容をシミュレートし演示することができる。
演習	10	13	木	3・4	鳥畑	第1講義室 第2実習室 実験室	緑生園実習準備 (四.Ⅶ-6-B、八.Ⅲ-3-A・B)	・ 臨地実習:知的障害者支援施設「緑生園」の準備ができる。
演習	10	20	木	4	鳥畑	第1講義室	口腔保健管理の実際 8 緑生園実習報告会 1) 実習報告 2) 自己紹介 (四.Ⅶ-6-B、八.Ⅲ-3-A・B)	・ 臨地実習終了後の学生各自の学びについて報告し合い、他の学生と学びを共有できる。 ・ 実習記録・実習評価票により各自の保健指導を評価することができる。
24	10	17	月	3	金子	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(VI) 1) 老年期 (六.Ⅶ-2-E、八.Ⅲ-3-A、Ⅳ-3-A)	・ 老年期の一般的特徴、口腔の特徴、望ましい歯科保健行動を説明できる。 ・ 日常生活習慣行動と生活環境を把握できる。 ・ ライフステージに応じた歯科保健指導ができる。
25	10	17	月	4	鳥畑	第1講義室	口腔保健管理 1) 義歯装着者の口腔清掃 2) 義歯の取り扱い 3) 義歯の機械的、化学的清掃 (八.Ⅲ-2-E)	・ 義歯の構成を理解できる。 ・ 義歯取扱いの注意事項を理解し説明することができる。 ・ 義歯の機械的清掃、化学的清掃を理解できる。 ・ 義歯装着者に応じた口腔清掃法を理解できる。
26	10	18	火	1	鳥畑 非常勤講師	第2実習室	口腔保健管理 1) 義歯清掃の実際 2) 機械的および化学的清掃法の実際 (八.Ⅲ-2-E)	・ 義歯の機械的清掃、化学的清掃を実施できる。 ・ 義歯装着者に応じた口腔清掃法と管理指導ができる。
演習	10	18	火	2・3	鳥畑	第2実習室	口腔保健管理の実際 9 1) 義歯清掃 2) 義歯装着者の口腔清掃 (グループワーク、学生相互実習) (八.Ⅲ-2-E)	・ 義歯取り扱いに関する問題点を抽出できる。 ・ 問題点の原因を考察できる。 ・ 義歯清掃の指導ができる。 ・ 義歯装着者に応じた口腔清掃法と管理指導ができる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
27	10	21	金	4	鳥畑	第1講義室	口腔保健管理の実際 10 1) 身体障害者に対する指導 (身体障害者の理解) (四.Ⅶ-6-B、八.Ⅲ-3-A・B)	・ 臨地実習: 障害者支援施設「岩手ワークショップ」実習の内容を理解できる。
28・演習	10	26	水	3・4	鳥畑 非常勤講師	第1講義室 第2実習室 実験室	口腔保健管理の実際 11 1) 岩手ワークショップ実習準備 2) 想定演習 (四.Ⅶ-6-B、八.Ⅲ-3-A・B)	・ 指定障害者支援施設「岩手ワークショップ」における個人指導の内容をシミュレートし演示することができる。
29・演習	11	1	火	1・2	鳥畑 非常勤講師	第1講義室 第2実習室 実験室	口腔保健管理の実際 12 1) 岩手ワークショップ実習準備 2) 想定演習 (四.Ⅶ-6-B、八.Ⅲ-3-A・B)	・ 指定障害者支援施設「岩手ワークショップ」における個人指導の内容をシミュレートし演示することができる。
演習	11	9	水	3・4	鳥畑	第1講義室	口腔保健管理の実際 13 1) 想定演習 (グループワーク) 歯周疾患、義歯装着に対する 歯科保健指導 (八.Ⅲ-2-C~E)	・ 各症例において、歯科的問題点を抽出し列挙できる。 ・ 歯科的問題点の原因を考察できる。 ・ 歯科的問題点に対する指導内容を決定できる。 ・ 指導方法、指導媒体を選択できる。
演習	11	16	水	1・2	鳥畑	第1講義室 第2実習室 実験室	口腔保健管理の実際 14 1) 岩手ワークショップ実習準備 2) 想定演習 (四.Ⅶ-6-B、八.Ⅲ-3-A・B)	・ 指定障害者支援施設「岩手ワークショップ」における個人指導の内容をシミュレートし演示することができる。
演習	11	16	水	3	鳥畑	第1講義室 第2実習室 実験室	口腔保健管理の実際 15 1) 岩手ワークショップ実習準備 (四.Ⅶ-6-B、八.Ⅲ-3-A・B)	・ 指定障害者支援施設「岩手ワークショップ」実習の準備ができる。
演習	11	25	金	4	鳥畑	第1講義室	口腔保健管理の実際 16 岩手ワークショップ実習報告会 1) 実習報告 2) 自己紹介 (四.Ⅶ-6-B、八.Ⅲ-3-A・B)	・ 臨地実習終了後の学生各自の学びについて報告し合い、他の学生と学びを共有できる。 ・ 実習記録・実習評価票により各自の保健指導を評価することができる。
30	11	28	月	3	金子	第2実習室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(Ⅶ) 1) 要介護高齢者 (六.Ⅶ-1-A、八.Ⅲ-3-A、Ⅳ-3-A)	・ QOL向上のための歯科保健指導ができる。 ・ 要介護高齢者の身体疾患と口腔疾患について説明できる。 ・ 舌・口腔粘膜の清掃器具の選択と使用法の指導ができる。 ・ 口腔衛生管理に必要な器具の取り扱いができる。
演習	12	15	木	4	金子	第1講義室	演習講義④ 1) 知識の定着 2) 問題解決能力の向上	・ 講義で理解できなかった項目を列挙する。 ・ 学習方法を説明できる。 ・ 理解した項目を身に付ける。
	1	31	火	2	金子 鳥畑	第1講義室	定期試験(筆答)	

第1学年 保健指導法

時間数	30時間（2時間×15回）＋ 演習6回
担当者	教員 金子由美子 教員 鳥畑美香 非常勤講師
一般目標	ライフステージ毎に多様な生活環境・健康状態にある個人及び集団に対し、最も適切な歯科保健行動がとれるよう、歯科衛生士として専門的な立場から支援できる能力を身につける。
成績評価	筆答により評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」(医歯薬出版) オーラルヘルスケア辞典(学建書院) 歯科保健指導関係資料2021年版 歯科保健関係統計資料2021年版
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	6	20	月	3	金子	第1講義室	歯科保健指導総論 1. 歯科保健指導の概念 (四.Ⅶ-1-A~D、IV-2-H 八. I-2-C~E)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科衛生士の法的な位置づけを説明できる。 ・ 歯科保健指導の意義と特性を説明できる。
2	6	20	月	4	鳥畑	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(I) 1) 妊産婦期 (四.Ⅶ-1-B、3-A・B・D Ⅶ-9-A~C、八.Ⅲ-3-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 妊産婦期の一般的特徴、口腔の特徴、歯科保健行動を説明できる。 ・ 必要な栄養素と食生活指導を説明できる。
3	6	24	金	1	鳥畑	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(II) 1) 乳児期 (四.Ⅶ-1-B、3-C・D Ⅶ-9-A~C、八.Ⅲ-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳児期の一般的特徴、口腔の特徴、歯科保健行動を説明できる。
4	6	24	金	2	鳥畑	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(III) 1) 幼児期 (四.Ⅶ-1-B、3-C~F Ⅶ-9-A~C、八.Ⅲ-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児期の一般的特徴、口腔の特徴、歯科保健行動を説明できる。
5	6	30	木	4	金子	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(IV) 1) 学齢期 (四.Ⅶ-1-B、 八.Ⅲ-3-A、V-1-C、3-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校歯科保健の概要を説明できる。 ・ 学齢期の一般的特徴と口腔の特徴、望ましい歯科保健行動を説明できる。 ・ 日常生活習慣行動と生活環境を把握できる。
6	7	5	火	3	金子	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(V) 1) 青年期 (四.Ⅶ-1-B、八.Ⅳ-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青年期の一般的特徴、口腔の特徴、望ましい歯科保健行動を説明できる。 ・ 日常生活習慣行動と生活環境を把握できる。 ・ ライフステージに応じた歯科保健指導について説明できる。
7	7	7	木	4	金子	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(VI) 1) 成人期 (四.Ⅶ-1-A、Ⅶ-A~C、 Ⅶ-11-A~C 八.Ⅳ-3-A、Ⅵ-4-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成人期の一般的特徴、口腔の特徴、望ましい歯科保健行動を説明できる。 ・ 日常生活習慣行動と生活環境を把握できる。 ・ ライフステージに応じた歯科保健指導について説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
演習	7	13	水	1	金子	第1講義室	演習講義① 1)知識の定着 2)問題解決能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 講義で理解できなかった項目を列挙する。 学習方法を説明できる。 理解した項目を身に付ける。
8	7	15	金	1	金子	第1講義室	歯科保健指導 1)健康教育 2)対象者別健康教育 (八.Ⅱ-1-A~E)	<ul style="list-style-type: none"> 健康教育の対象と場の特徴を説明できる。 健康教育に必要な情報を収集できる。 健康教育活動の方法を説明できる。 対象者の特性とニーズが把握できる。
9	7	15	金	3	金子	第1講義室	歯科保健指導の実際 指導案作成 (八.Ⅱ-1-A~E)	<ul style="list-style-type: none"> 個人指導の指導案を作成できる。 一般的特徴、口腔の特徴、望ましい歯科保健行動を説明できる。 日常生活習慣行動と生活環境を把握できる。 歯科保健指導ができる。
演習	7	20	水	1	金子	第2実習室	歯科保健指導の実際 1)ブラッシング指導 (八.Ⅱ-1-A~E)	<ul style="list-style-type: none"> 指導案に基づいた歯科保健指導を実施することができる。 必要な器具の取り扱いができる。
10・演習	7	25	月	1・2・3	金子 非常勤講師	第2実習室	口腔清掃指導法 1)ブラッシング指導 (四.Ⅱ-1-A・B 八.Ⅲ-2-C)	<ul style="list-style-type: none"> 対象者に対する適切な対話法ができる。 口腔清掃の意義を説明できる。 口腔清掃状態の評価ができる。 歯科保健指導ができる。
11	9	2	金	3	鳥畑	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(Ⅶ) 1)障害児者 (四-IX-6-D 六.Ⅶ-1-A 2-A・B、3-B 八.Ⅲ-3-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 障害児者の一般的特徴と歯科的特徴を説明できる。 障害児者の歯と口の健康管理の現状と重要性を理解できる。
12	10	4	火	3	金子	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(Ⅷ) 1)老年期 (四.Ⅱ-1-B 六.Ⅶ-2-A~E 九.Ⅰ-2-A・B、 Ⅶ-1-A~E)	<ul style="list-style-type: none"> 老年期の一般的特徴、口腔の特徴、望ましい歯科保健行動を説明できる。 日常生活習慣行動と生活環境を把握できる。 必要な栄養素とその摂取基準を説明できる。
13	10	11	火	2	金子	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(Ⅸ) 1)要介護高齢者 (六.Ⅶ-1-A、八.Ⅱ-1-D)	<ul style="list-style-type: none"> 要介護高齢者の身体疾患と口腔疾患について説明できる。 日常生活習慣行動と生活環境を把握できる。 食生活指導について説明できる。
14	12	6	火	4	金子	第1講義室	生活指導 1)生活習慣 (四.Ⅷ-6-A 八.Ⅳ-1-A、2-A・B、 Ⅴ-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> 口腔保健と生活習慣の関係を説明できる。 非感染性疾患(NCDs)の種類と特徴および口腔の関連性を説明できる。 禁煙者に対する指導について説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
演習	12	19	月	2	金子	第1講義室	演習講義① 1)知識の定着 2)問題解決能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・講義で理解できなかった項目を列挙する。 ・学習方法を説明できる。 ・理解した項目を身に付ける。
15	1	17	火	4	金子	第1実習室	歯科衛生教育活動 教育媒体の作成・1 (四. VII-1-A~J、2-D、 3-A~F、4-A、6-B)	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージごとの口腔保健施策を概説できる。 ・歯科衛生教育活動における歯科衛生士の役割を把握できる ・歯科衛生教育活動時に使用する媒体を作成できる。
演習	1	20	金	3 ・ 4	金子	第1実習室	教育媒体の作成・2	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生教育活動時に使用する教育媒体をパソコンを使用して作成することができる。
	1	24	火	2	金子	第1講義室	定期試験(筆答)	

第1学年 栄養指導法

時間数	15時間（2時間×8回）
担当者	医療法人 日新堂 八角病院 栄養部栄養科 中軽米 聡子
一般目標	歯科保健指導の一環として、歯科衛生士が個人あるいは集団の人々に栄養・食生活指導ができる能力を身につけるため、栄養学で学ぶ基礎知識をもとに、ライフステージ別の栄養・食生活に関する教育的働きかけの内容を学ぶ。
成績評価	筆答により評価する。
教科書	「楽しくわかる栄養学」(羊土社) オールガイド五訂増補食品成分表2022(実教出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	10	31	月	4	中軽米	栄養指導の意義 歯科保健指導の一環としての栄養指導の意義を理解する。 母性栄養指導 女性のライフサイクルから母性の各段階をとらえ、特に、妊婦に対する栄養指導上の問題点と指導ポイントについて学ぶ。 (八. V-1-D)	・ 栄養指導の目的と必要性を説明できる。 ・ 母性栄養指導上の問題点を説明できる。 ・ 栄養所要量と摂取量の問題点を説明できる。 ・ 妊娠初期・中期・後期における食事指導のポイントについて説明できる。 ・ 胎児の歯の形成時期に関連づけた栄養指導のポイントについて説明できる。
2	11	7	月	4	中軽米	乳児期栄養指導 出生後から1年間の「哺乳」と「離乳」の意味を理解し、その内容と方法について学ぶ。 (八. IV-3-A、V-1-D、3-A・B)	・ 乳汁栄養の種類と方法について説明できる。 ・ 母乳栄養の意義について説明できる。 ・ 離乳の定義について説明できる。 ・ 離乳期の各段階における指導内容と問題点の概要について説明できる。
3	11	14	月	4	中軽米	幼児期栄養指導 発達段階に合った望ましい幼児食の内容と指導のポイントについて学ぶ。 (八. IV-3-A、V-1-D、4-A・B)	・ 食事摂取基準をもとに、食構成・食の目安・望ましい食物の配分について説明できる。
4	11	28	月	4	中軽米	学童及び思春期栄養指導 小学生・中学生・高校生の各時期における食生活の現状と問題点を理解し、健康な身体をつくるための指導のポイントについて学ぶ。 (八. IV-3-A)	・ この時期の食生活に起因する栄養の問題点について説明できる。 ・ 学校給食と家庭の食事において、何をどれだけ食べた方が良いか説明できる。 ・ 肥満と貧血について、身体的特徴と栄養指導のポイントが説明できる。 ・ 小児期生活習慣病について説明できる。
5	12	5	月	4	中軽米	成人期栄養指導 成人期における食生活の現状と問題点を理解し、健康な身体をつくるための指導のポイントについて学ぶ。 (八. IV-3-A)	・ この時期の食生活に起因する栄養の問題点について説明できる。 ・ 生活習慣病に応じた食生活指導ができる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
6	12	12	月	4	中軽米	<p>甘味食品の摂取法 全身の健康・齲蝕予防・嗜好の観点から砂糖をとらえ、シュガーコントロールの考え方を理解する。また、代用甘味料を含む甘味食品の与え方について学ぶ。</p> <p>心身障害者に対する食事指導 心身障害者の食生活の現状について理解し、口腔の機能面を視野に入れた望ましい食生活への援助の仕方について学ぶ。</p> <p>(四. III-2-A、 X-3-A、 八. V-3-B・C)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活と齲蝕予防におけるシュガーコントロールの考え方について説明できる。 ・砂糖の消費と齲蝕有病との関係を説明できる。 ・代用甘味料の種類と特徴について説明できる。 ・望ましい甘味食品の与え方を説明できる。 ・食品の砂糖含有量について資料を作成できる。 ・心身障害者の食生活の現状について説明できる。 ・適切な食事環境や食事姿勢について説明できる。 ・食物の調理形態や水分摂取の方法について説明できる。
7	1	16	月	4	中軽米	<p>寝たきり高齢者に対する食事指導</p> <p>寝たきり高齢者の食生活の現状について理解し、口腔の機能面を視野に入れた望ましい食生活への援助の仕方について学ぶ。</p> <p>(八. V-3-B・C)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・寝たきり高齢者の食生活の現状について説明できる。 ・摂食嚥下障害者に対する適切な食事環境や姿勢について説明できる。 ・摂食嚥下障害者に対する食物の調理形態や水分摂取の方法について説明できる。
8	1	23	月	1	中軽米	<p>定期試験</p>	

第1学年 歯科診療補助法

時間数	70時間（2時間×35回）＋演習11回
担当者	教員 佐藤佳奈枝 鳥畑美香 非常勤講師
一般目標	専門的な歯科診療の補助に対応するために必要な基本的知識、技術および態度を習得する。
成績評価	筆答90点、授業・実習態度（身嗜み、提出物含む）10点により総合的に評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論第2版」（医歯薬出版） 最新歯科衛生士教本「歯科機器」（医歯薬出版）
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	15	金	2	佐藤(佳)	第1講義室	歯科診療補助総論 1) 歯科診療補助の概念 (九. I-1-A)	・ 歯科衛生士の業務の一つである、歯科診療補助の意義と法的位置づけを説明できる。 ・ 歯科診療の補助と歯科診療の介助の違いを述べることができる。
2	4	22	金	2	佐藤(佳)	第1講義室	歯科診療室の基礎知識 1) 歯科診療室の環境 2) 歯科診療室の基礎知識 3) 歯科用ユニット、薬品、歯科材料の管理 (九. I-3-A、5-A~F)	・ 診療室の環境、設備について説明できる。
3	4	28	木	3	佐藤(佳)	第1講義室	適切な患者対応 (歯科衛生士としての心構え) 1) 歯科診療所における患者対応 2) 特別な配慮が必要な患者 (九. I-3-A・B)	・ 適切な患者対応について説明できる。 ・ 患者の状態に応じた対応ができる。
4・5	5	10	火	3・4	佐藤(佳) 非常勤講師	第1講義室 第3・4実習室	実習の心得 1) 実習室における実習の心得 2) 身だしなみ 3) 実習室の設備、使い方、清掃方法、後始末方法 4) 清潔域と不潔域 歯科用ユニット 1) 各部の名称と操作方法 2) メンテナンス 3) コンプレッサー 4) ユニット操作実習 (九. I-5-A)	・ 実習をするにあたり、その心得と身だしなみについて理解する。 ・ 学校の実習室の使用方法を理解する。 ・ 歯科用ユニットの各部名称を説明できる。 ・ 歯科用ユニットの管理ができる。
6	7	5	火	4	佐藤(佳)	第1実習室	検査・診断時の業務 1) 医療面接 2) 診査用器材の取り扱い (六. I-1-A、2-A、九. I-2-A・B)	・ 医療面接について説明できる。 ・ 歯科診査用器具の取り扱い方法を説明できる。
7	7	12	火	4	佐藤(佳)	第1講義室 第4実習室	共同動作 1) 共同動作の概念 2) 共同動作におけるポジショニング 3) 診療時のライティング (九. I-4-A~D)	・ 共同動作の概念を列挙できる。 ・ 共同動作の正しいポジショニングができる。
8・9	7	19	火	3・4	佐藤(佳) 非常勤講師	第1実習室	衛生用品の作製 1) カット綿 2) ロール綿 3) 綿球 4) 小折ガーゼ 5) 噛みガーゼ 6) ブローチ綿花	・ 歯科診療で用いる衛生用品が作製できる。 ・ 衛生用品の滅菌法・取り扱いを説明できる。
10・11・演	8	22	月	1・2・3	佐藤(佳) 非常勤講師	第3・4実習室	患者誘導・ポジショニング 1) ユニットへの患者誘導 2) 適正なポジショニング (九. I-3-A、5-A)	・ チェアユニットの各部名称を理解し、操 ・ 安全で確実な患者誘導をし、診療に際して適正なポジションをとることができる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
12	8	26	金	3	佐藤(佳) 非常勤講師	第1実習室	器具の受け渡し 1 1) 受け渡しに適した位置と避ける位置 2) ベングリップとパームグリップによる受け渡し (九. I-4-C)	・器具の取り扱いや受け渡しを実施できる。
13 ・ 14	8	30	火	3 ・ 4	佐藤(佳) 非常勤講師	第1実習室 第3・4実習室	バキュームテクニック 1 (3wayシリンジテクニック) 1) バキュームの基本技法 2) バキュームテクニックの応用 3) 3wayシリンジの基本操作 (九. I-4-A・B・D)	・バキュームテクニックの基本を理解できる。
15 ・ 16 ・ 17	8	31	水	1 ・ 2 ・ 3	佐藤(佳) 非常勤講師	第3・4実習室	バキュームテクニック 2 (マネキン実習) 1) 実習準備・後始末 2) バキュームの基本技法 (九. I-4-A~D)	・バキュームの操作方法を理解し、基本的操作ができる。
18 ・ 19 ・ 20	9	5	月	2 ・ 3 ・ 4	佐藤(佳) 非常勤講師	第3・4実習室	バキュームテクニック 3 (学生相互①) 1) バキュームの操作方法 2) 診療時のライティング (九. I-4-A~D)	・バキュームの操作方法を理解し、基本的操作ができる。 ・状況に応じた適正なライティングができる。
21 ・ 22 ・ 23	9	12	月	2 ・ 3 ・ 4	佐藤(佳) 非常勤講師	第3・4実習室	バキュームテクニック 4 (学生相互②) 1) 3wayシリンジテクニック 2) フォーハンドデッドデンティストリー (九. I-4-A~D)	・スリーウェイシリンジの目的を理解し、正しく操作できる。 ・フォーハンドテクニックの目的を理解できる。 ・フォーハンドテクニックの基本動作を実施できる。
24 ・ 25	9	22	木	3 ・ 4	鳥畑 非常勤講師	第3・4実習室	患者介助実習 1) 車椅子の基本操作 2) 視覚障害者の歩行介助 3) 聴覚障害者の歯科保健指導 (九. IX I-3-B)	・車椅子の基本的操作ができる。 ・視覚障害者の歩行介助方法を行うことができる。 ・聴覚障害者に対する歯科保健指導を実践できる。
26 ・ 27	10	25	火	1 ・ 2	佐藤(佳) 非常勤講師	第1・4実習室	切削装置 1) 種類(回転切削器具、手用切削器具) 2) 操作方法 3) 消毒方法 4) メンテナンス (九. III-2-A)	・歯科診療に使用される切削装置の種類と取り扱い方を説明できる。
28	12	7	水	2	佐藤(佳) 非常勤講師	第1実習室	歯間分離法・隔壁法 1) 歯間分離とは 2) 各種セパレーターの手扱い 3) 隔壁法とは (六. II-1-C)	・歯間分離と隔壁法について理解し、使用器具の取り扱いができる。
29 ・ 30 ・ 31 ・ 演	12	21	水	1 { 4	佐藤(佳) 非常勤講師	第1実習室	口腔外科・歯科麻酔処置における業務 1) 歯科衛生士の役割 2) 局所麻酔時に使用する器材 3) 普通拔牙時に使用する器材 4) 口腔外科手術時に使用する器材 (九. V-1-A, 2-A, 4-A, 5-A)	・口腔外科・歯科麻酔処置における歯科衛生士の役割を理解できる。 ・口腔外科治療で使われる器具の名称と用途を説明できる。
32 ・ 33	1	10	火	1 ・ 2	佐藤(佳) 非常勤講師	第1実習室	器具の受け渡し 2 1) 各種治療の術式に沿った受け渡し (九. I-4-C)	・具体的な治療の術式に沿って、受け渡しを実施できる。
34 ・ 35	1	11	水	1 ・ 2	佐藤(佳) 非常勤講師	第1実習室	口腔内写真撮影 1 1) 口腔内写真の意義 2) 口角鉤の取り扱い 3) 撮影用ミラーの取り扱い 4) 撮影時のポジショニング	・口腔内写真の意義を理解し、撮影方法と使用する器具、カメラの取り扱い方を説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
演習	1	11	水	3・4	佐藤(佳) 非常勤講師	第1実習室	口腔内写真撮影 2 1) デジタルカメラの取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> デジタルカメラの特徴を理解できる。 デジタルカメラの準備ができる。
演習	1	18	水	1 5 4	佐藤(佳) 非常勤講師	第3・4実習室	口腔内写真撮影3(学生相互) 1) デジタルカメラでの部位別撮影方法	<ul style="list-style-type: none"> 目的にあった口腔内写真撮影と補助ができる。
演習	1	19	木	4	佐藤(佳)	第1講義室	知識の定着	<ul style="list-style-type: none"> 歯科診療補助の業務内容と法的解釈を説明できる。 保健医療制度での補助行為に関する業務概要について説明できる。
	1	23	月	2	佐藤(佳)	第1講義室	定期試験	
演習	2	6	月	1 ・ 2	佐藤(佳)	第1実習室	口腔内写真撮影 4 1) データの保存 2) 画像処理 3) プリントアウト 口腔内写真撮影 5 1) 撮影した写真の自己評価 2) 改善点と対策	<ul style="list-style-type: none"> 撮影した画像を保存できる。 データの画像処理方法について理解し、記録用の口腔内写真をプリントアウトできる。 各自の口腔内写真の自己評価を行い、撮影における改善策を検討する。

第1学年 感染予防法

時間数	15時間（2時間×8回）
担当者	教員 佐藤佳奈枝 非常勤講師
一般目標	歯科医療機関における感染予防ができるために、実際の業務を習得し滅菌、消毒法と感染予防法について知識と技術を習得する。
成績評価	筆答90点、授業・実習態度(身嗜み、提出物含む)10点により総合的に評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論 第2版」(医歯薬出版) 最新歯科衛生士教本「歯科衛生学総論」(医歯薬出版) 「歯科衛生士のための歯科臨床概論」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	19	火	3	佐藤	第1講義室	医療と感染予防 1) 医療安全とは 2) 歯科診療時の偶発事故 3) 勤務中のインシデント・アクシデント 4) インシデント・アクシデント報告 (五. I - 5 - A、九. I - 6 - A)	<ul style="list-style-type: none"> 医療安全の目標を述べることができる。 医療安全対策に関する用語を説明できる。 インシデント・アクシデント報告の目的を具体的に述べることができる。
2	4	26	火	3	佐藤	第1講義室	感染予防 I 歯科医療における感染予防対策 1 1) 感染症と感染予防対策 2) 標準予防策 3) 医療従事者としての対応 (五. I - 5 - A・B、九. I - 6 - B)	<ul style="list-style-type: none"> 歯科医療における感染症の概念とその対策を説明できる。 標準予防策を具体的に説明できる。
3・4	5	2	月	1・2	佐藤 非常勤講師	第1実習室 第3・4実習室	感染予防 II 手指衛生(手指消毒) 1) 手指衛生の方法 2) 個人防護具の着脱 (九. I - 7 - C)	<ul style="list-style-type: none"> 手洗い評価キットを使用し、洗い残しの多い部位を理解できる。 手指衛生を正しく理解し行うことができる。 防護用具の目的を理解し、正しく着脱ができる。
5・6	5	16	月	1・2	佐藤	第1講義室	感染予防 III 滅菌と消毒 1) 滅菌法 2) 消毒法 (九. I - 7 - A～E)	<ul style="list-style-type: none"> 滅菌・消毒の定義が説明できる。 滅菌・消毒・洗浄の方法について説明できる。 消毒薬の特徴と用途を説明できる。 各種滅菌機械、消毒薬の管理が説明できる。
演習	5	20	金	3	佐藤	第1講義室	演習 1) インシデント事例 2) インシデント報告書の書き方	<ul style="list-style-type: none"> 過去の事例報告から、本校で頻度の高い事例を理解することができる。 インシデント報告書の書き方を説明できる。
7	5	27	金	3	佐藤	第1講義室	感染予防 IV 医療廃棄物の取り扱い 1) 廃棄物の概要 2) 分類・分別・処理方法 (九. I - 6 - B)	<ul style="list-style-type: none"> 医療廃棄物の分類と分別について説明できる。 医療廃棄物の処理責任者、処理方法について説明できる。
8	6	3	金	3	佐藤	第1講義室	感染予防 V 歯科医療における感染予防対策 2 1) リスクアセスメント 2) 環境感染予防対策 3) 血液・体液曝露事故対策 (五. I - 5 - A・B 九. I - 6 - A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 感染のリスクを説明できる。 歯科診療室、歯科機器等の感染予防について説明できる。 血液・体液曝露事故発生後の対応と防止策を理解し、説明できる。
9	6	16	金	1	佐藤	第1講義室	定期試験	

第1学年 歯科材料学

時間数	30時間 (2時間×15回) + 演習26時間 (2時間×13回)
担当者	医学部・歯学部 医療工学講座 教授 武本 真治 医学部・歯学部 医療工学講座 准教授 澤田 智史 医学部・歯学部 医療工学講座 助教 佐々木 かおり 教員 佐藤佳奈枝 非常勤講師
一般目標	歯科診療で用いる歯科材料の基本的性質を理解し、適正な取り扱い・操作を行うために必要な基礎知識を習得する。
成績評価	筆記試験(90%)、プレテストおよびポストテスト(10%)により総合的に評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科診療補助第2版」(医歯薬出版) 最新歯科衛生士教本「歯科材料」(医歯薬出版)
参考書	「イラストと写真でわかる歯科材料の基礎」(永末書店)

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	9	6	火	4	武本	第1講義室	歯科材料学概論 歯冠修復材(金属) (六.Ⅲ-1-B、4、 九.Ⅳ-5-B)	<ul style="list-style-type: none"> 歯冠修復用材料の製作過程(鋳造)から歯科衛生士として必要な材料を列挙できる。 歯冠修復材料の名称を列挙できる。 歯科用合金の種類を列挙できる。
2	9	13	火	4	武本	第1講義室	歯冠修復材(セラミックス・複合材料) 材料の基礎知識1 (六.Ⅱ-1-D、 九.Ⅱ-4-A・C、Ⅲ-3、4)	<ul style="list-style-type: none"> 歯冠修復用セラミックスおよび複合材料を列挙できる。 応力と力、ひずみを説明できる。 熱による膨張と収縮を説明できる。 硬化反応を説明できる。
3	9	20	火	4	澤田	第1講義室	印象材1 ハイドロコロイド印象材 (九.Ⅱ-3-A、B)	<ul style="list-style-type: none"> 印象材の種類を列挙できる。 印象材の硬化反応を説明できる。 ハイドロコロイド印象材の性質を説明できる。
演習	9	27	火	3・4	佐藤 非常勤講師	第2実習室 実験室	演習 1)アルジネート印象材の取り扱い① (九.Ⅱ-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> アルジネート印象材練和の準備ができる。 アルジネート印象材の練和ができる。
4	10	4	火	4	武本	第1講義室	印象材2/模型材 (九.Ⅱ-3-C~E、Ⅳ-2) (九.Ⅱ-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> 印象採得の取り扱い法を説明できる。 模型材の種類を列挙できる。 模型材の性質を説明できる。
演習	10	5	水	3・4	佐藤 非常勤講師	第2実習室 実験室	演習 1)模型材の取り扱い 2)アルジネート印象材の取り扱い② (九.Ⅱ-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> 石膏練和の準備ができる。 石膏の取り扱いができる。 局部トレーを使用し、顎模型の印象採得ができる。 石膏模型を作製できる。
演習	10	7	金	1・2	佐藤 非常勤講師	第2実習室 実験室	演習 スタディモデルの作製1 (マネキン実習) 1)マネキンを用いた概形印象採得 2)石膏模型の作製 直接台付け (九.Ⅱ-3-A、Ⅳ-2) (九.Ⅱ-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> マネキン上で全顎の印象採得ができる。 普通石膏の取り扱いができる。 気泡を入れずに普通石膏を注入できる。 モデルトリマーの取り扱いができる。 スタディモデルを作製できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
演習	10	12	水	2・3・4	佐藤 非常勤講師	第2実習室 実験室	演習 1) 寒天印象材の取り扱い 2) 寒天・アルジネート連合印象採得 3) 石膏模型の作製 4) モデルトリマーの取り扱い (九. II - 3 - A・B、III - 4 - A)	・寒天印象材の取り扱いができる。 ・2級窩洞模型を用いて寒天アルジネート連合印象採得ができる。 ・超硬質石膏を用いて模型作製ができる。
5	10	18	火	4	澤田	第1講義室	印象材3 ゴム質印象材 非弾性印象材 (九. II - 3 - C～E、IV - 2) (九. II - 1 - A)	・ゴム質印象材の特徴を説明できる。 ・非弾性印象材の特徴を説明できる。 ・印象採得の取り扱い法を説明できる。
演習	10	24	月	3・4	佐藤 非常勤講師	第2実習室 実験室	演習 1) ゴム質印象材の取り扱い 2) 非弾性印象材の取り扱い (九. II - 3 - C～E、IV - 2) (九. II - 1 - A)	・ゴム質印象材の準備ができる。 ・ゴム質印象材の練和ができる。 ・酸化亜鉛ユージノール印象材の取り扱いができる。 ・モデリングコンパウンドの取り扱いができる。
6	10	25	火	4	佐々木	第1講義室	合着材/仮着材 (九. II - 2 - A～C、E、III - 4 - A、IV - 5 - B)	・合着材、仮着材の種類を列挙できる。 ・合着材、仮着材の組成を列挙できる。 ・合着材、仮着材の性質を説明できる。
演習	10	26	水	2	佐藤 非常勤講師	第2実習室 実験室	演習 1) 各種セメントの取り扱い (九. II - 2 - A～C、E、III - 4 - A、IV - 5 - B)	・各種セメント練和のための準備ができる。
7	11	1	火	4	武本	第1講義室	合着材/接着材 (九. II - 2 - D、III - 4 - A、IV - 5 - B)	・接着性レジンセメントの組成を列挙できる。 ・接着性レジンセメントの性質を説明できる。 ・合着材、接着材の取り扱い法を説明できる。
演習	11	9	水	1・2	佐藤 非常勤講師	第2実習室 実験室	演習 1) 合着材の取り扱い (九. II - 2 - A～C、E、III - 4 - A、IV - 5 - B)	・各種合着材の練和ができる。
演習	11	10	木	4	佐藤 非常勤講師	第2実習室 実験室	演習 1) 接着材の取り扱い (九. II - 2 - D、IV - 5 - B)	・各種接着性レジンセメントの特徴を説明できる。 ・接着性レジンセメントの取り扱いができる。
8	11	15	火	4	澤田	第1講義室	成形修復材 1 / 仮封材 (六. II - 1 - D、九. II - 4 - A・B、5 - A～E、III - 3 - A)	・仮封材の種類を列挙できる。 ・成形修復材の種類を列挙できる。 ・コンポジットレジンの構成成分を列挙できる。 ・コンポジットレジンの性質を説明できる。
演習	11	21	月	3・4	佐藤 非常勤講師	第2実習室 実験室	演習 1) 仮封材の取り扱い 2) 仮着材の取り扱い (九. II - 2 - E、5 - A～E)	・各種仮封材の特徴を説明できる。 ・各種仮封材の取り扱いができる。 ・各種仮着材の取り扱いができる。
9	11	29	火	4	武本	第1講義室	成形修復材 2 (六. II - 1 - D、九. II - 4 - A・B、III - 3 - A)	・コンポジットレジン修復を説明できる。 ・グラスアイオノマーセメント修復の特徴を説明できる。

回数	月	日	曜日	時 限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
演習	12	7	水	3・4	佐藤 非常勤講師	第2実習室 実験室	演習 1)成形修復材の取り扱い (六.Ⅱ-1-D、 九.Ⅱ-4-A・B、Ⅲ-3-A)	・コンポジットレジンとグラスアイオノ マーセメントによる成形修復の準備が できる。
10	12	13	火	4	佐々木	第1講義室	義歯用材料/レジン/ワックス (六.Ⅲ-1-B-a、 九.Ⅱ-6-A・B)	・義歯用材料を列挙できる。 ・アクリルレジンの組成を列挙できる。 ・アクリルレジンの性質を説明できる。 ・ワックスの種類と用途を説明できる。 ・ワックスの組成と性質を説明できる。
演習	12	16	金	3・4	佐藤 非常勤講師	第2実習室 実 験室	演習 1)根管治療に使用する材料 2)根管充填に使用する材料 (九.Ⅱ-6-A・B 九.Ⅲ-7-C)	・根管充填材の組成を説明できる。 ・根管充填用セメントの種類と特徴を理 解できる。 ・根管充填用セメントの取り扱いがで きる。
11	1	10	火	4	澤田	第1講義室	歯科補綴材料 インプラント 適合試験材、粘膜調整材 リライン材 (六.Ⅲ-1-D、2-E、 九.Ⅱ-6-C)	・インプラントに用いられる材料を列挙 できる。 ・インプラント材料に要求される性質を 説明できる。 ・適合試験材、粘膜調整材、リライン材 の種類と組成を列挙できる。
演習	1	13	金	3 ・ 4	佐藤 非常勤講師	第2実習室 実 験室	演習 1)適合試験材、粘膜調整材 リライン材の取り扱い (六.Ⅲ-1-D、2-E) 九.Ⅳ-5-A・B)	・床義歯装着時に用いる適合試験材、 粘膜調整材、リライン材の準備と取り 扱いができる。
12	1	17	火	1	武本	第1講義室	切削研磨/材料の基礎知識2 (九.Ⅲ-2-A、)	・回転切削器具の種類を列挙できる。 ・切削材、研磨材の種類を列挙できる。 ・用途に応じた切削材、研磨材を選択 できる。 ・材料の硬さ、熱伝導性、耐変色性を 説明できる。
演習	1	17	火	2	佐藤 非常勤講師	第1実習室	演習 1)常温重合レジンの取り扱い 2)切削器具、研磨材の取り扱い (九.Ⅱ-6-B・C、Ⅳ-4-A、 Ⅳ-5-A・B)	・常温重合レジンの準備と取り扱いがで きる。 ・レジン、金属の切削、研削、研磨がで きる。
	1	30	月	2	武本	第1講義室	定期試験	
演習	I期実習中に 3交代制で行う。				佐藤 非常勤講師	第3・4実習室第 2実習室 実験室	スタディモデルの作製 2 (相互実習) 1)学生相互での概形印象 採得 2)石膏模型の作製 (九.Ⅱ-1・3-A)	・スタディモデル作製のため、実際の口 腔内の印象採得ができる。
演習					佐藤 非常勤講師	第2実習室 実 験室	スタディモデルの作製 3 1)ゴム枠を用いた台付け (九.Ⅱ-1-A)	・ゴム枠を用いてスタディモデルの台付 けを行い、平行模型を作製できる。

第1学年 病院等臨床実習Ⅰ期

時間数	53.5時間
担当者	岩手医科大学附属病院歯科医療センター 歯科医師 歯科衛生士 盛岡市立病院歯科 歯科医師 歯科衛生士 教員 佐藤 佳奈枝 教員 太田 彩香
一般目標	歯科臨床の現場において、診療を見学し、チーム医療の一員としての歯科衛生士の役割と責任を学ぶとともに、歯科臨床の概要を理解する。
成績評価	出席状況(9割以上)、実習評価、レポートを総合して成績評価とする。
教科書	
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
	4	8	金	3・4	佐藤	歯科医療センター施設見学	・施設の概要を理解し、安全に実習するための準備を行う。
	2	2	木	3	太田	盛岡市立病院施設見学	・施設の概要を理解し、安全に実習するための準備を行う。
	2	3	金	1 3	太田	歯科医療センター実習 オリエンテーション	・施設の概要を理解し、安全に実習するための準備を行う。
1	2	7	火	1	岩手医科大学 歯科医療センター 盛岡市立病院 歯科医師 歯科衛生士	岩手医科大学歯科医療センター 高度先進保存科 高度先進補綴科 口腔外科 口腔総合診療科 矯正歯科 小児歯科 盛岡市立病院 歯科 1) 診療開始前の準備 2) 器材器具及び材料の取り扱い 3) 歯科診療の見学 4) 患者誘導及び接し方の見学 5) 各症例ごとの後始末	<ul style="list-style-type: none"> ・診療室のルールを理解できる。 ・医療安全管理に配慮した行動ができる。 ・感染予防(消毒・滅菌、手指消毒)対策に応じた行動ができる。 ・器材、機器および薬品の管理の方法を理解した行動ができる。 ・患者のデータ資料の管理方法を理解できる。 ・スタッフ間の連携、共同動作について理解できる。
2	3	3	金	4			
3							
4	期間中、7日間の臨床実習を行う。						
5							
6							
7							

第1学年 臨地実習 [障害者福祉施設歯科保健指導実習]

時間数	12時間
担当者	教員 鳥畑 美香
一般目標	知的障害者・身体障害者に対して適切に歯科保健指導を行う能力を身につけるため、障害者福祉施設において、対象者の情報収集と理解・コミュニケーション・歯科保健指導及び援助の方法について習得する。
成績評価	実習記録・口腔内チャート、日常点を総合評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」
参考書	オーラルヘルスケア辞典(学建書院)

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
1	10	14	金	1 5 4	鳥畑	知的障害者に対する 歯科保健指導実習 [障害者支援施設 緑生園] 1) 臨地実習準備 2) 入所者・職員に対する挨拶 3) 知的障害者に対する 歯科保健指導(40分間) ①医療面接 ②口腔内の観察と記録 ③歯垢の顕示と観察 ④日常のブラッシングと観察 ⑤ブラッシング指導 ⑥生活面に視点をのいた 歯科保健指導 ⑦ホームケアのポイント指導 ⑧まとめ 緑生園園長 特別講義 緑生園と知的障害者について 4) 施設内見学 5) 臨地実習終了後始末 6) 実習記録の作成 7) 口腔内チャートの作成	<ul style="list-style-type: none"> ・実習に関する準備が確実にできる。 ・対象者の状況把握に努め配慮した適切な対応ができる。 ・コミュニケーションをとることができる。 ・医療面接を的確に行うことができる。 ・口腔内の状態を観察し、チャートに記録できる。 ・対象者に合った適切な歯科保健指導ができる。 ・毎日の生活状況から歯科的問題を掌握し、良い状況に導くための指導ができる。 ・知的障害者入所更生施設と入所者の概要を説明できる。 ・感染予防を基本とした後始末が確実にできる。 ・実習記録において、ポイントをまとめ丁寧に記録することができる。 ・PCRと歯垢指数(DI-S)を正しく算出することができる。 ・対象者への口腔内チャートをポイントをまとめ丁寧に記載することができる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
2	11	17	木	1 ～ 4	鳥畑	身体障害者に対する 歯科保健指導実習 [障害者支援施設 岩手ワークショップ] 1) 臨地実習準備 2) 入所者・職員に対する挨拶 3) 身体障害者に対する 歯科保健指導(50分間) ①医療面接 ②口腔内の観察と記録 ③歯垢の顕示と観察 ④日常のブラッシングと観察 ⑤ブラッシング指導 ⑥生活面に視点をのいた 歯科保健指導 ※義歯装着者に対する指導 ※聴覚障害者・視覚障害者に 対する指導 ⑦ホームケアのポイント指導 ⑧まとめ 4) 施設内見学 5) 臨地実習終了後始末 6) 実習記録の作成 7) 口腔内チャートの作成	<ul style="list-style-type: none"> ・実習に関する準備が確実にできる。 ・対象者の状況把握に努め配慮した適切な対応ができる。 ・コミュニケーションをとることができる。 ・医療面接を的確に行うことができる。 ・口腔内の状態を観察し、チャートに記録できる。 ・対象者に合った適切な歯科保健指導ができる。 ・毎日の生活状況から歯科的問題を掌握し、良い状況に導くための指導ができる。 ・感染予防を基本とした後始末が確実にできる。 ・実習記録において、ポイントをまとめ丁寧に記録することができる。 ・PCRと歯垢指数(DI-S)を正しく算出することができる。 ・対象者への口腔内チャートをポイントをまとめ丁寧に記載することができる。

第1学年 臨地実習 [歯科保健指導実習(幼稚園・小学校)]

時間数	18時間
担当者	教務主任 鈴木 奈津子 教員 太田 彩香
一般目標	幼児・学童に対して適切に歯科保健指導を行う能力を身につけるため、対象者の情報収集と理解・コミュニケーション・歯科保健指導及び援助の方法について理解する。
成績評価	実習レポート、出席点により総合評価する。
教科書	
参考書	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」(医歯薬出版) 「オーラルヘルスケア辞典」(学建書院)

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
1 ・ 2	4	25	月	3 ・ 4	鈴木	幼稚園実習オリエンテーション	・ 幼稚園実習の概要を理解する。
3 ・ 5	5	11	水	1 ・ 3	鈴木	幼稚園児に対する 歯科保健指導実習 1)臨地実習準備 2)園児・保護者・職員に対する 挨拶 3)集団歯科保健指導 4)歯科保健指導(個人)	・ 幼児への接し方を理解する。 ・ 発達段階に応じた歯科保健指導の課題について理解する。
							学生を2グループにわけて 実習を行う。
6	6	10	金	2	鈴木	小学校実習オリエンテーション	・ 小学校実習の概要を理解する。
7 ・ 9	6	21	火	1 ・ 3	太田	小学校児童に対する 歯科保健指導実習 1)臨地実習準備 2)児童・教諭・職員に対する 挨拶 3)小学校児童に対する歯科 保健指導	・ 学童への接し方を理解する。 ・ 発達段階に応じた歯科保健指導の課題について理解する。

第1学年 接遇

時間数	15時間 (2時間×8時間)
担当者	ヒット・ビジネスコンサルティング 及川敦子
一般目標	一般社会や保健医療現場において、相手の立場を考えた気遣いができ、正しい接遇・マナーを身につけ、自然にふるまえるようになるために、接遇の基礎知識を学び、接遇・マナーの実際を習得する。
成績評価	レポート(70%) 日常点(30%)
教科書	実践ビジネスマナー第14版(ウィネット)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
1	6	17	金	3	及川	接遇の概論 1) 接遇とは 2) 接遇の現代的意義 3) 医療現場での接遇の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・接遇の意義を説明できる。 ・接遇の現代的意義を説明できる。 ・医療現場における接遇の必要性を説明できる。
2	7	6	水	1	及川	接遇の実際 1 1) 言葉遣いのマナー 2) 敬語の基本	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉遣いのマナーを説明できる。 ・敬語の基本を具体的に述べることができる。
3	7	8	金	3	及川	接遇の実際 2 1) 敬語の応用	<ul style="list-style-type: none"> ・敬語の応用を具体的に述べることができる。
4	7	12	火	3	及川	接遇の実際 3 1) 慶弔、贈答のマナー 2) 表書きのマナー(実習) 3) 招待状のマナー(実習)	<ul style="list-style-type: none"> ・慶弔、贈答のマナーを説明できる。 ・葉書等の表書きのマナーを実践できる。 ・招待状に関するマナーを実践できる。
5	10	5	水	2	及川	接遇の実際 4 1) 受付対応のマナー 2) 美しいおじぎの仕方 3) 席次のマナー	<ul style="list-style-type: none"> ・受付対応のマナーを説明できる。 ・美しいおじぎができる。 ・席次について説明できる。
6	10	27	木	4	及川	接遇の実際 5 1) 電話対応のマナー 2) 電話取次ぎの仕方 3) 伝言の受け方	<ul style="list-style-type: none"> ・電話対応のマナーが説明できる。 ・電話取次ぎを実践できる。 ・伝言の受け方を実践できる。
7	10	28	金	4	及川	スピーチトレーニング 1) 自己表現力の方法 2) 共感能力・傾聴能力の訓練 3) 主体性の訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・自己表現力のあるスピーチができる。 ・相手のスピーチで共感したことを説明できる。 ・相手のスピーチを傾聴することができる。 ・主体性のあるスピーチができる。
8	10	31	月	3	及川	レポート形式の総括テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・接遇の意義を理解できる。 ・医療人としての患者観を理解している。 ・医療現場における接遇の必要性を理解できる。 ・医療関係の用語を漢字で書くことができる。

第1学年 コミュニケーション論

時間数	18時間（2時間×9回）
担当者	加賀 留美子
一般目標	歯科衛生士として、聴覚障害をもつ患者との信頼関係を築くために、聴覚障害について理解と認識を深め、会話に必要な手話読み取り及び手話表現技術を習得する。
成績評価	実技、レポート、授業態度で総合評価する。
教科書	「今すぐはじめる手話テキスト 聴さんと学ぼう！」 一般財団法人全日本ろうあ連盟
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
1・2	5	9	月	3・4	加賀	聴覚障害の基礎知識 1	<ul style="list-style-type: none"> 聴覚障害について理解する。 手話の歴史を学習する。
						形・動作・イメージ	<ul style="list-style-type: none"> 身振りや表情など言葉以外の伝達方法を考えて表現してみる。 指文字を習得する。
3・4	5	16	月	3・4	加賀	聴覚障害の基礎知識 2	<ul style="list-style-type: none"> 表現の基礎を学習する。 レポート
						手話による会話 1 挨拶・自己紹介	<ul style="list-style-type: none"> 数字を習得する。 手話を習得する。
5・6	5	23	月	3・4	加賀	手話による会話 2 家族・趣味・誕生日	<ul style="list-style-type: none"> 習得した表現を実践する。
						手話による会話 3 簡単な日常会話・歌	<ul style="list-style-type: none"> 相手にわかりやすい手話表現の技術を習得し、相手の手話が理解できる。 レポート
7・8	5	30	月	3・4	加賀	歯科診療室における手話 1	<ul style="list-style-type: none"> 診療室や保健指導での場面における聴覚障がい者への理解ができる。
						歯科診療室における手話 2	<ul style="list-style-type: none"> 歯科に関する会話の基礎を習得する。
9	6	6	月	3	加賀	試験	<ul style="list-style-type: none"> 手話表現・手話の読み取り・レポート

第1学年 特別講義

時間数	4時間
担当者	岩手医科大学附属病院 歯科医療センター長 岩手医科大学附属病院 歯科衛生部 歯科衛生士長
一般目標	実習に臨むにあたり、実習施設の概要、特色とその役割について学び、実習生としての自覚を持つ。
成績評価	出席をもって評価する
教科書	
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
1			期日未定		歯科医療センター長	歯科医療センターの概要と臨床実習における心構え	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科医療センターの概要を理解する。 ・臨床実習 I 期に臨むにあたっての心構えを持つことが出来る。
2			期日未定		歯科衛生士長	歯科医療センターにおける歯科衛生部の役割について	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科医療センターにおける歯科衛生部、歯科衛生士の役割について理解する。

第1学年 特別講義

時間数	1時間
担当者	有限会社コーディアル 代表取締役 坪田 まり子
一般目標	コミュニケーションの意義と技法を学び、社会人として必要なコミュニケーションのあり方を学ぶ。
成績評価	出席をもって評価する
教科書	
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
1	11	30	水	2	坪田	歯科衛生士に必要な コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一印象の重要性を理解できる。 ・ 相手を不快にさせない話し方の原則を列挙できる。 ・ 歯科衛生士としてのキャリアビジョンを模索できる。